

第七十四回
帝國議會
貴族院

保險業法改正法律案特別委員會會議事速記録第三號

昭和十四年三月十四日(火曜日)午前十時
十九分開會

○委員長(伯爵樺山愛輔君) ソレデハ是カラ會議ヲ開キマス

○子爵會我祐邦君 私ハ議事進行ニ付テ皆サンニ御諮ヲ致シ御諒解ヲ得タイノデアリマスガ、一般質問ニ付テ終リマシタ時ニハ、條文ガナカク、澤山ゴザイマスカラ、又問題ガ先ニナリ後ニナリシマスト、徒ニ時間ヲ取ルコトニナリマスルカラ、或時期ヲ委員長ニ於テ御見計ラヒニナツテ、ソレカラ之ヲ逐條ト申シマシテモ、例ヘバ第一條カラ十條迄トカ十條カラ二十條迄トカ、順席ヲ履ンデ一ツ御互ニ質問スルヤウニナスッタラバ、議事ノ進行上非常ニ都合ガ好クハナイカト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ、勿論是ハ一般ノ質問ノ終リマシタ後デ宜カラウト思ヒマスガ、サウ云フ風ニ委員長ニ於テ、皆サンノ御同意ガゴザイマシタラ、サウ御考ヲ戴キタイト思ヒマス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 會我委員ノ御提議ニ御異存ナケレバ、サウ云フ風ニ致シタイト思ヒマスガ……
〔贊成〕異議ナシト呼フ者アリ

○子爵會我祐邦君 私ハ昨日ノ仁井田、山岡各委員ノ御質問ニ關聯シテ承リタイノデアリマスガ、第三條ノ「總額十萬圓以上」ト云フ問題デアリマスガ、是ハ昨日ノ御答辯ニ觸レテ居ル質問カモ知レマセウガ、現實ノ話モウ二十年ニモナリマセウガ、保險會社ノ設立許可ニ對シマシテハ二百萬圓位デアッタト思ヒマスガ、ソレ以下デハ御許可ニナツテ居ラスモノト思フノデアリマスガ、昨日モ御意見ガアリマシタ通りニ、過去ニ於キマシテ、極ク古イ時代ニ於テ、保險會社ノ金額ノ少イモノガ許可ニナツテ居リマスガ、昨今ハ現實ニ二百萬圓四分の一拂込、五十萬圓ト云フモノヨリ以下ハ御許可ニナツテ居ナイノデスガ、之ヲ見マスルト、何ダカ今後ニ於テモ斯ウ云フ小サナモノガ或ハ又許サレルヤウナ一ツノ解釋ヲスルコトガ出來ルヤウニ見エマスガ、一層ノコト新シク御變ヘニナルノデカラ、斯ウ云フモノハ矢張り相當ナ二百萬トカ何トカ云フ風ニ御決メニナルト云フ方ガハッキリシヤシナイカト思ヒマス、ソレハドウデゴザイマセウカ、昨日ノ御答辯ニ觸レテ居ッタカト思ヒマスガ……

○政府委員(牧橋雄君) 御答ヘ申上ゲマス、最近許サレタモノト致シマシテハ、日本團體生命ト云フノト協榮生命ト云フ、是ハ特殊ナ目的ノ會社デゴザイマスガ、是ハ何レモ會我子爵ノ仰セニナルヤウニ二百萬圓デゴザイマス、ソレヨリ以前ニ於キマシテハ、昨日モ申上ゲマシタ通りニ非常ニ資本金ノ少額ノモノモゴザイマス、昨日申上ゲマシタノハ相當大規模ノ會社デゴザイマスガ、公稱資本三十萬圓デ拂込七萬五千圓、現在ノ保險契約高七億見當ニナツテ居リマス、サウ云フノガ實情デゴザイマス

○政府委員(牧橋雄君) 今期議會ニ出サレマシタ森林保險ハ國營デヤル森林保險デアリマシテ、特別ノ法律ニ基イテ居ルノデアリマス、從ツテ今回ノ保險業法ノ改正トハ關係ハゴザイマセウ

○山岡萬之助君 速記ヲチヨット御止メラ願ツテ御聽キ致シタイト思ヒマスガ

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 速記ヲ止メテ〔速記中止〕

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 速記ヲ付ケテ○子爵會我祐邦君 今議會ニ於キマシテ、委員會ニ於テ審議サレテ居リマス森林保險デアッタト思ヒマスガ、私ハ何モ讀ンデ居リマセヌデ存ジマセウガ、此ノ森林保險ト云フコトニ付キマシテハ、矢張り此ノ保險ハ今日我々ガ審議致シテ居リマス總テノナニ括ラレテ居ル保險會社デアリマセウ

カ、ドウ云フ風ナモノデゴザイマスガ、極ク簡單ニ御説明ヲ承リタイ、ドウ云フ關係ヲ持ツテ居ルカト云フヤウナコトヲ……
○子爵會我祐邦君 外國ニモゴザイマス、何ト申シマスルカ、霜ニ對シマスル保險ダトカ、サウ云フヤウナ矢張り農產物ニ對スル霜ガ早ク來ル爲ノ害ト云フヤウナコトニ對スル保險ガ存在シテ居ルヤウニ思ヒマスガ、今ハサウ云フヤウナモノノ保險會社ガ果シテ日本デ許サレテ居リマスルカ、又將來サウ云フモノノ研究ガ進ンデ、御許可ニナル御積リデアリマスガ、從ツテサウ云フヤウナ農產物ニ對スル保險會社ノ存在ガ認メラレルヤウニナツテ來ルト、言フ迄モナク森林ニ對スル保險ガ民間ノナニ起ツテ來ルコトハ事實デアアル、苗木ノ霜ニ對スル損害トカ何トカ云フヤウナコト、サウ致シテ參リマスルト、今日只今御説明ニナツタ保險業法ニ依ッテ取締ラレナイ所ノ國營ノ森林

ノ保險會社ト云フモノト民間ノモノトハ、御互ニ對立シテ來ルヤウナ姿ニナル將來見込ガアルノデスガ、ソレ等ニ對スル一ツノ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(牧樞雄君) 農産物ノ被害ニ對スル點ニ付キマシテハ、主トシテ農林省デ研究ヲシテ居ルノデゴザイマスガ、同省ニ設ケラレテ居リマスル委員會デ既ニ案ノ成立シテ居ルノモゴザイマスガ、一番問題ニハ東北地方ニ於ケル冷害、農産物ノ冷害ノ對策トシテ保險制度ヲ利用シヨウト云フ考ガアルヤウデゴザイマス、併シナガラ此ノ農産物ニ對スル冷害ハ、其ノ危險率ト申シマスカ被害率等ガ非常ニ不正確ノモノデアリマシテ、之ヲ保險ノ仕組ニ依ッテ救済スルコトハ非常ニ困難デアルトサレテ居ルヤウデゴザイマス、尙研究スルコトニナッテ居リマシテ、私モ其ノ委員ノ一人ト致シマシテ今後急イデ研究スルコトニナッテ居リマスルガ、非常ニムツカシイ問題ノヤウニ思ッテ居リマス、ソレカラ風水害ニ付キマシテモ矢張り同様ナコトガ考ヘラレノデアリマス、農産物ニ付キマシテハ、今ノ所國家ガ保險ノ制度以外ノ方法ヲ考ヘテ救済スル以外、方法ガナイノデハナカラウカト云フヤウナ、マア非常ニ漠然トシテ居リマスガ、サ

ウ云フ考ノ方ガ強い現状デアリマス

○子爵會我祐邦君 若シ保險ト云フコトニ依ッテ、風水害ナリ或ハ冷害ナリ農産物ノ被害ナリヲ救済スルコトガ出來得ルト云フヤウナ計算ノ基礎ガ立ツタ曉ニハ、是ハ國營デ爲スベキモノデハナカラウカト思ヒマスノデスガ、是ハ民營ニ移シタナラバ、非常ニ大キナ會社ナラバ率知ラズ、ソレ迄ニ行ッテシマフヤウナ氣ガスルノデスガ、其ノ邊ノ御考ヲ承リタイ

○政府委員(牧樞雄君) 全ク會我子爵ノ仰シヤル通りデゴザイマシテ、保險ト致シマシテハ其ノ數理的ノ基礎ヲ見出スノニ少シ困難デアルカノヤウデゴザイマス、從ッテ或程度、國ノ補助トカ其ノ他ノ方法ヲ考慮致シマシテ行クヨリ外ハナイデアラウト思ヒマス、從ッテ國營的ノ色彩ガ非常ニ強イモノニナルガラウト考ヘラレマス、併シナガラ是ハ今委員會デ急イデ研究スルコトニナッテ居リマスノデ、謂ハバ私ノ一個ノ考カモ知レマセヌガ……

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 別ニ御質問ガナケレバ、先刻會我委員カラ提案セラレタ通り今度ノ法案ヲ逐次ニ一ツ御研究願ヒマシタナラバドウデセウ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○子爵會我祐邦君 私ハ誠ニソレガ宜カラウト思フノデゴザイマスガ、仁井田博士ガ相當ニ質問ヲ御ヤリノヤウデスガ、今日ハ御出デゴザイマセヌカラ逐條御審議ニナッテ、明日アタリニモ仁井田博士ガ、何カノ御都合デ御出デニナリマセヌカ知レヌガ、御出デニナリマスレバ御許ニナルヤウニ私カラ御願ヒ致シテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(牧樞雄君) 御説明申上ゲマス、其ノ前ニ御諒承ヲ願ッテ置キタイト思フコトハ、此ノ改正案ノ中ニハ現行法ノ建前ヲ其ノ儘殘シタモノガ大變多イノデゴザイマス、現行法ノ内容ヲ其ノ儘殘シマシテ、法典ノ文字ノ記載例ニ依リマシテ記載ヲ變ヘタモノモ大變多イノデゴザイマス、御承知ノ通り現行法ハ明治三十年代ノ立案デゴザイマシテ、近頃ノ法文ノ書キ方トハ大分異ツタ點ガアルノデアリマス、今回ノ改正ニ當ッテハ左様ナ點ヲ成ルベク現在ノ書キ方ニ改メルト云フコトニ致シマシテ、ソレガ爲ニ文字ハ變ッテ居リマスルケレドモ、内容ニハ少シモ變更ノナイト云フノガ多イノデゴザイマス、例ヘバ濁音ノ假名ニ付キマシテハ、現行法ニハ濁點ヲ付シテ居リマセヌケレドモ近頃ハソレヲ付シテ居リマスカラ、此ノ案ニ於キマシテモ濁音ヲ付スルコトニ致シ

マシタコトナドデゴザイマス、次ニ先日提案理由ヲ御説明致シタ際ニモ申上ゲマシタヤウニ、現行法デハ章節ノ分チ方ガ、必ズシモ明確デナイヤウナ點モゴザイマシタノデ、改正案ニ於キマシテハ其ノ點ニ相當考慮ヲ加ヘマシテ、株式會社ト相互會社トノ雙方ニ共通ノ趣旨ノ規定ハ成ルベク之ヲ總則ニ、其ノ他共通ノ章ニ於キマシテ、又會社ノ解散、清算其ノ他特別ノ場合ニ適用ノアルヤウナ規定ハ、之ヲ獨立ノ章ニ移シ、一般ノ場合ニ適用ノアル規定ト區別スルコトニ依リマシテ、出來得ル限り法律ノ理解ニ便ナラシメヨウトシタノデゴザイマス、是等ノ條文ノ整理ノ關係ニ付キマシテハ、御手許ニ配付シマシタ「改正案現行法對照表其ノ一」及ビ「其ノ二」ト致シマシテ、ソレト改正案ヲ規準トスルモノ及ビ現行法ヲ規準トスルモノヲ御手許ニ差上ゲテ置キマシタカラ、ソレニ依ッテ御承知ヲ願ヒタイト存ジマス、第三ニ商法ノ改正ニ伴ヒマシテ、商法準用規定等ニ相當ノ改正ヲ加ヘタノデゴザイマス、是ハ對照表「其ノ三」ト致シマシテ御手許ニ差上ゲテ置キマシタカラ、ソレニ依ッテ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、第四ニ改正ノ主ナル點ニ付キマシテハ、提案理由ノ説明ノ際「保險業法改正法律案要旨」ニ

依リマシテ一應其ノ趣旨トスル所ヲ御説明
申上ゲタノデアリマス、又其ノ後御諒承ヲ
戴イタ點モ少クナイヤウニ存ジマスノデ、
成ルベク重複スルコトヲ避ケテ御説明申上
ゲタイト存ジマス、ソレカラ尙説明ノ際ニ
或ハ申上ゲルコトヲ漏スコトモアラウカト
思ヒマスガ、左様ナ場合ニハ御指摘ニ依リ
マシテ説明ヲ補充シテ行キタイト存ジマス
カラ、豫メ是等ノ點ハ御諒承ヲ願ヒタイト
思ヒマス、ソレデハ只今申上ゲマシタ對照
表等ヲ御参照願ヒマシテ、第一條カラ逐次
御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、第一條ヲ
朗讀致シマス、「第一條保險事業ハ主務大臣
ノ免許ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ營ムコトヲ
得ズ、前項ノ免許ヲ受ケントスル者ハ申請
書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス、一定
款、二事業方法書、三普通保險約款、四保
險料及責任準備金算出方法書、五財産利用
方法書」是ハ現行法ノ第一條ト第五條トヲ
合セマシテ、趣旨ニ於テハ全然同ジデゴザ
イマス、從來現行法ニ於キマシテハ「主務
官廳」トアリマシタノヲ、「主務大臣」ニ改
メタバカリデゴザイマス、其ノ他字句ノ修
正ヲ若干行ッテ居リマス、「第二條主務大臣
必要アリト認ムルトキハ前條ノ免許ヲ申請
シタル者ヲシテ相當ノ金額ヲ供託セシムル

コトヲ得、前項ノ供託金ハ主務大臣ノ認許
シタル有價證券ヲ以テ之ニ代フルコトヲ
得」是ハ現行法ノ第四條ノ二デゴザイマス、
趣旨ハ全然同ジデゴザイマス、「第三條保險
事業ハ資本又ハ基金ノ總額十萬圓以上ノ株
式會社又ハ相互會社ニ非ザレバ之ヲ營ムコ
トヲ得ズ」是ハ現行法ノ第二條第十六條
第二十八條ヲ一ツノ條文ニ纏メタニ過ギマ
セヌ、色々御質問ノアツタ第二條デゴザイ
マス、「第四條保險會社ハ其ノ商號又ハ名稱
中ニ其ノ營ム主タル保險事業ノ種類ヲ示ス
コトヲ要ス、保險會社ニ非ザルモノハ其ノ
商號又ハ名稱中ニ保險事業者タルコトヲ示
スベキ文字ヲ用フルコトヲ得ズ」是ハ現行
法ノ十五條、二十七條、施行規則二條ヲ一
ツノ條文ニ集メタ譯デゴザイマシテ、趣旨
ハ全然同ジデゴザイマス、「第五條保險會社
ハ他ノ事業ヲ營ムコトヲ得ズ」是ハ現行法
ノ第三條デゴザイマシテ、現行法ノ第三條
ハ「保險會社ハ他ノ事業ヲ兼スルコトヲ得
ズ」、「兼スルコトヲ得ズ」ト云フノヲ「營ム
コトヲ得ズ」ト書イタニ過ギナイノデゴザ
イマシテ、保險會社ノ兼業ヲ禁止スル趣旨
デゴザイマス、一應五條迄ニ付キマシテ御
説明ヲ致シマス

政府委員ニ承ッテ置キタイノハ、只今ノ御説
明ニ依リマス、第四條ノ「保險會社ハ其ノ
商號又ハ名稱中ニ其ノ營ム主タル保險事業
ノ種類ヲ示スコトヲ要ス」ト云フコトガゴザ
イマスルガ、此ノ何々保險會社ト云フト、詰
リ保險會社ノ名稱ヲ謳ヘト云フコトニナッ
テ居ルト思ヒマスガ、言ヒ換ヘマスルト保
險ト云フ名前ガ付イテ居ルノデスカラ、總テ
保險業法デ縛ラレルカト云フトサウデナイ
ノデスネ、何故カト云フト之ヲ讀ミマスル
ト、保險會社ト云フ名前ノ付イタモノハ全
部保險業法ニ依ッテ縛ラレテ居ルカト云フ
コトヲ、常識的ニハッキリ分ルヤウニ書イ
テアルヤウニ思ハレマスルガ、先程ノ御説
明ト關聯致シマスルガ、森林保險ノ如キハ
保險業法以外ノ特別令ニ依ッテ出來テ居ルカ
ラシテ、保險ト云フ名前ガ付イテモ必ず保
險業法ニ縛ラレル譯デヤナイ、サウ云フ風
ニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(牧橋雄君) ハイ
○子爵會我祐邦君 能ク分リマシタ
○政府委員(牧橋雄君) 「第六條保險會社
ノ常務ニ從事スル取締役又ハ支配人ガ他ノ
會社ノ常務ニ從事セントスルトキハ主務大
臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス」是ハ新シク
設ケラレタ規定デゴザイマシテ、先般御説
明申上ゲマシタガ、此ノ趣旨トスル所ハ、
保險會社ノ常務ニ從事スル役員ト云フモノ
ガ、他ノ會社ノ常務ニ從事スル場合ニ弊害
ガ豫想セラレル場合ガアル、其ノヤウナ場
合ニハ禁止ヲシタイト云フ趣旨デゴザイマ
ス、之ヲ如何ナル標準ニスルカハ問題デゴ
ザイマスルガ、非常ニ弊害ノアルヤウナ場
合ニ限ッテ之ヲ禁止シタイト云フ趣旨デア
リマス、從ッテ其ノ例トシテ申上ゲテ見タイ
ト思フノハ、例ヘバ株式取引員タル會社ノ
常務ニ從事スルガ如キハ、保險會社ノ業
務ト相容レナイモノデハナカラウカト考ヘ
マス、サウ云フモノヲ禁止シタイト云フ趣
旨デゴザイマス、「第七條保險會社ハ生命保
險事業ト損害保險事業トヲ併セ營ムコトヲ
得ズ但シ生命保險事業ヲ營ム會社ハ生命
保險ノ再保險事業ヲ營ムコトヲ得」是ハ現
行法ノ第四條ニ規定ガアリマシテ、全然趣
旨ヲ同ジシテ居リマス、「第八條主務大臣

ハ何時ニテモ保險會社ヲシテ其ノ事業ニ關
スル報告ヲ爲サシメ又ハ當該官吏ヲシテ保
險會社ノ營業所、事務所其ノ他ノ場所ニ臨
檢シ業務若ハ財産ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ
他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得此ノ場合
ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシム
ルコトヲ要ス、第八條ハ現行法ノ第十條ノ
趣旨ヲ取入レマシテ字句ヲ變更致シタノデ
アリマスガ、第八條ニ於キマシテハ、當該
官吏ガ實地検査ヲ行フ場合ニ付キマシテ、
其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムルコトト
致シマシタ、從來斯様ナ點ニ付テ別段不都
合ヲ生ジタ例ガアッタ譯デハナイノデアリ
マスガ、一層手續ヲ慎重ニシヨウト云フ趣
旨デ之ヲスルコトニ致シタノデアリマス、
「第九條主務大臣保險會社ノ業務又ハ財産
ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ業務
執行ノ方法ノ變更又ハ財産ノ供託ヲ命ジ其
ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」
是ハ現行法ノ第九條ノ規定ニアル部分ヲ擴
充シタノデゴザイマス、今回ノ改正ノ主眼
點ガ第九條ニ取入レラレテ居ルノデゴザイ
マス、先般御説明申上ゲマシタ通りニ、現
行法ニ於キマシテハ、主務官廳ト致シマシ
テ、基礎書類ニ定メタル事項ニ從ハシムル
ダケノ命令ヲスルコトガ出來ル、併シナガ

ラ基礎書類ト申シマスルノハ、非常ニ抽象
的デアルシ相當、裕リヲ持ッテ居リマス、其
ノ裕リノ範圍内ニ於テ爲スコトガ保險會社
ノ業績ヲ惡化セシムルヤウナ場合ガ、監督
ノ經驗上知ラレテ居リマスルノデ、是等ノ
場合ニ、業務ノ實際上ノヤリ方ニ付キマシ
テ指導的ノ監督ガ出來ルヤウニシタイト云
フノガ、此ノ趣旨デゴザイマス、財産ノ供
託ヲ命スル場合ハ、財産ガ散逸致シマシテ、
保險契約者ノ利益ヲ保護スル上ニ於キマシ
テ供託ヲ命ズルコトヲ必要トスルヤウナ場
合ニ於キマシテ、是等ノ處置ヲ執リタイト
考ヘテ居リマス、其ノ他監督上必要ナル命
令ヲ爲スコトヲ得」ト申シマス、非常ニ無
制限ニ監督上ノ命令ガ出來ルヤウニ感ゼラ
レマスガ、是ハ御承知ノ通りニ、立法例ガ
澤山ゴザイマシテ斯ウ云フ書キ方ヲ致シ
テ居リマス、勿論上ニ例示致シタモノ等ニ
準ズル程度ノ監督上ノ命令ヲ爲シ得ルニ止
ルノデアリマシテ、是ハ解釋上モ一定シテ
居ルカノヤウニ考ヘマス、從ッテ或程度ノ制
限内ニ於ケル命令ガ出來ルヤウニ考ヘテ居
リマス、第十條保險會社ガ第一條第二項ニ
掲グル書類ニ定メタル事項ノ變更ヲ爲スニ
ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス、主
務大臣保險會社ノ業務若ハ財産ノ狀況ニ依

リ又ハ事情ノ變更ニ依リ必要アリト認ムル
トキハ前項ノ事項ノ變更ヲ命ズルコトヲ得、
主務大臣保險契約者、被保險者又ハ保險金
額ヲ受取ルベキ者ノ利益ヲ保護スル爲特ニ
必要アリト認ムルトキハ第一項ノ變更認可
ノ際現ニ存スル保險契約ニ付テモ亦將來ニ
向テ其ノ變更ノ效力ノ及ブモノト爲スコト
ヲ得、前項ノ處分アリタルトキハ保險會社
ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨及變更ノ要
旨ヲ公告スルコトヲ要ス、是ハ今回ノ改正
ノ要點ノ一ツヲ爲スモノデゴザイマシテ、
第一項ノ規定ハ現行法ノ第八條ニ規定ガア
ルノデゴザイマス、第二項ガ改正セラレタ
重要點デゴザイマシテ、主務大臣ガ保險會
社ノ業務若シクハ財産ノ狀況ニ依リマシテ、
或ハ一般的事情ノ變更ニ依リマシテ、必要
ガアルト認ムルトキハ此ノ基礎書類ノ變更
ヲ命ズルコトガ出來ルト云フノデゴザイマ
ス、基礎書類ヲ變更シナクテハ不都合デア
ルト云フ場合ハ、會社ガ進ンデヤルベキデ
ハゴザイマスガ、御承知ノ通り保險會社ハ
相當ノ烈シイ競争ヲ致シテ居リマス、從ッテ
基礎書類ニ不都合ヲ生ジタト云フコトガ分ッ
テ居リマシテモ、自ラ進ンデ變ヘルト云フ
ヤウナ手續ヲ執ラナイヤウナ場合ガ從來ノ
經驗カラ考ヘラレルノデアリマス、其ノヤ

ウナ場合ニ於キマシテハ、主務官廳ト致シ
マシテ進ンデ之ヲ變更セシムルコトガ、其
ノ會社ノ從來ニ向テ非常ニ好イ結果ヲ齎ス
ト云フヤウナ場合ガ豫想セラレマスカラ、
其ノヤウナ場合ニハ變更ヲ命ジタイト云フ
ノガ第十條ノ第二項ノ趣旨デゴザイマス、
ソレカラ第三項ハ、特ニ保險契約者等ノ利
益ヲ保護スル爲ニ必要ガアリト認メラルル
ヤウナ場合ニハ、此ノ第一項ノ變更ノ認可ノ
際ニ、現ニ存在シテ居リマスル保險契約ニ付テ
モ、其ノ將來變更ノ效力ガ及ブコトニシタイ
ト云フ趣旨デゴザイマス、ト申シマスノハ一例
ヲ舉ゲテ申シマスルト、解約返戻金ト云フヤ
ウナモノハ、古イ契約ニ於キマシテハ保險技
術ノ進歩等ガ未ダシカク關係モアリマシ
テ、此ノ解約返戻金ガ少イノデゴザイマス、
保險ノ發達ト共ニ解約返戻金モ技術上多ク
ヲ出スコトガ出來ルヤウニナッテ居リマス
ル現狀カラ致シマシテ、是等ヲ多額拂戻シ
ガ出來ルト云フヤウナ場合ニハ、現在ノ契
約者ニモソレ等ノ利益ニ浴セシムルコトガ、
公平ヲ主眼トスル保險事業ニ於テハ必要デ
アラウカト考ヘマス、從ッテ是ハ業者側カラ
ノ希望モゴザイマシテ、今回斯ウ云フ改正
ヲ致シタ譯デゴザイマス、大體十條迄御説
明ヲ申上ゲマシタ

○子爵會我祐邦君 私ハ第八條ニ付テ伺ヒ
タイノデスガ、其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶
セシムルコトヲ要ス」ト云フコトガゴザイ
マスガ、是ハ保險會社ニ對シテ、政府ガ取
調ヲ爲スヤウナ場合ニハ、或ハ帳簿等ヲ見
タイト云フヤウナ時分ニハ、何ノ何某ト云
フ證明書ヲ持ッテ行クコトダト思フノデア
リマスガ、サウスルト出シ抜ケニ行ッテ調ベ
ルコトガアルト云フコトヲ意味スルノデゴ
ザイマセウカ、如何デゴザイマスカ

○政府委員(牧橋雄君) 此ノ監督ヲ實際ス
ルニ當リマシテハ、事項ニ依リマシテハ
豫告致シテスルコトガ出來ナイ場合ガアル
ト考ヘラレマス、殊ニ何等カノ準備ヲセラ
レルコトガ、監督ノ實績ヲ擧ゲル上ニ付キ
マシテ、非常ニ惡影響ガアルト思フヤウナ
場合ニ於キマシテハ或ハ不意ニ行クヤウナ
場合ガアラウカト考ヘマス、何レニ致シマ
シテモ證票ヲ携帶シタ者デナケレバ検査ガ
出來ナイト云フコトニシタイト云フノガ本
條ノ趣旨デゴザイマス

○子爵會我祐邦君 ソレハ誠ニ私ハ良イコ
トダト思ヒマス、保險會社ニ詰リ政府カラ
商工省カラ電話ガ掛カテ、幾日頃カラ監査
ヲ始メルト云フコトヲ豫告ナサル、隨分遣
リ繰シテ居ルト云フコトハアリマスマイケ

レドモ、豫告ガアル爲ニ却テ検査ノ目的ヲ
達シナイヤウナコトガアリヤシナイカ、ソ
レデ出シ抜ケニ行カレルト云フコトハ、少
シ其ノ會社ヲ信用シナイ、又其ノ會社ノ「プ
レステイツヂ」ヲ傷ツケルヤウナ點モアリマ
セウ、ケレドモ或意味ニ於テハ出シ抜ケニ行
クト云フコトハ必要ダト思フ一人デアリマ
ス、併シナガラ一方カラハ斯ウ云フコトガ
人情ノ上ニアリ得ル、或保險會社ノ者ガ商
工省ノ保險ノ方ノ方々ニ感情ヲ害シテ居ル
ヤウナコトガアリ得ル人間ノコトデスカ
ラ……、サウスルト隨分手心ノ仕様ニ依ッテ
ハ意地ノ惡イト云フコトハアリ得ナイデス
ケレドモ、サウ云フヤウナ風ニ會社ガ苦シ
ム場合ガアル、例ヘバ決算期ニ直面シテ居
ル時ニ行ッテ精密ナ監査ヲ行フ、是ガ四日モ
五日モ續イテヤルト會社ハ堪ラナイ場合ガ
アリ得タト云フコトヲ私ハ聞イテ居ル、ソ
レハ何モ感情ヲ害シタト云フコトガ動機デ
サウ云フコトガアリ得ルコトデアリマス
イケレドモ、サウ云フヤウナコトニ對シテ
ハ相當公平ナ立場カラ、其ノ會社ノ強イ會
社デアルト弱イ會社デアルトヲ問ハズ、ソ
コラハ斟酌ナスッテ行カレルコトガ必要デ
ハナイカ、隨分保險會社ノ小サイ會社ニナ
リマス、政府ノ言フコトヲ肯カズ、隨分

無理ヲシテサウシテ政府ノ御方ヲ困ラシ、
一方カラ隨分感情ヲ害スルヤウナコトガア
リ得ルト思ヒマス、併シソレ等ニ對シテハ
折角ノ新シイナニガ出來マシテ、其ノ發達
ヲ益、助長スルト云フ思召ガアル以上ハ、一
方ニ監督ヲ嚴ニシ、或場合ニハ直チニ其處
ニ行ッテ取調ヲスルト云フ位ナ權限ヲ持ッ
テ、ドン／＼ヤラレルト同時ニ、ソコラノ
手心ヲ以テ、十分人情味ヲ以テ臨マレムコ
トヲ希望シテ、此ノ第八條ニ關聯シタ意味
ニ於テ私ハ意見ヲ申上ゲル次第デアリマス
○山岡萬之助君 第六條ノ役員ノ兼業ニ付
テデアリマスガ、此ノ監督役ト云フモノハ、
取締役ト比較シテモウ少シ會社カラ寧ロ
離レタモノデアアル、然ルニ常務ニ從事スル
ノハ取締役ダケデアッテ、監査役ト云フモノ
ニ比較スルト云フト、普通ニ取締役ハ他ノ
職ヲ兼ネテ居ル、此レ監査役ト云フノハ、
常務ヲ兼ネテ居ルモノト考ヘテ居ルノデア
リマセウカ、ドウモ常務ヲ執ル監査役ト云
フモノハサウモ無イヤウニ思ヒマスガ、ソ
レハドウ云フモノデアリマセウカ

○政府委員(牧橋雄君) 常務ニ從事スル監
査役ニ限ル譯デアリマス
○山岡萬之助君 常務監査役デスネ
○政府委員(牧橋雄君) ハイ

○山岡萬之助君 常務監査役ト云フコトニ
限ラレテ此ノ規定ヲサレタトスレバ、マア
保險會社デアアルカラ格別斯ウシタト云フコ
トデアリマセウガ、銀行法ナドニハサウ云
フモノハナイノデアリマスガ、ソレハドウ
云フ次第デアリマスカ、又一體監査役ト云
フモノハ、此ノ頃能ク常任監査役ト云ッテ常
ニ出テヤッテ居ラレル習ハシニ段々ナッテ來
タヤウデアリマス、一體監査役ト云フモノ
ハ始終來テ常務ヲ見ルベキデアアルカドウデ
アルカ、ソレハ私ハ根本論トシテ少シ疑フ
ノデスガ、常務者ハ常務ヲ執ッテ、ソレカラ
次第ニ其ノ仕事ヲ勵イテ居ル中ニソコヘ關
與スルト云フト、何時カ常務者ニナッテシマ
フ、監査役ト云フモノハモウ少シ離レタ極
ク廣イ見地カラ眺メテ行ク、斯ウ我々ハ思
フノデスガ、サウ云フ關係ニ付テ一應承ッテ
置キタイト思ヒマス

○政府委員(牧橋雄君) 御尤ナ御尋デゴザ
イマシテ、取締役ト監査役トノ職務ガ混淆
致シマスコトハ、事業ノ經營ニ相當惡影響
ガアルモノト考ヘマス、此ノ規定ハ銀行法
其ノ他類似ノ監督業法ニアル立法例ニ倣ヒ
マシテ、全然同ジコトヲ規定シタノデゴザ
イマス
○山岡萬之助君 全然同ジコトダト言フノ

デアリマスガ、全然同ジデナイコトニナッテ居ルノデスガ、ドウデスカ、銀行法ハ銀行ノ業務ニ從事スル取締役又ハ支配人ト書イテアッテ、監査役ト云フモノハナイ、只今ヲ説明デハ少シ合ハナイヤウニ思ヒマス

○政府委員(牧橋雄吉) 甚ダ失禮致シマシタ、銀行法ニハ監査役ハゴザイマセヌ、保險會社ニ於キマシテハ、監査的立場ニ於テ常務ヲ見ル監査役ガゴザイマシテ、是等ノモノハ其ノ本來ノ事業ニ惡影響ヲ及スヤウナ、他ノ會社ノ常務ニ從事スルコトガ場合ニ依ッテハ弊害ヲ齎スモノト考ヘマシテ、本法ニ新タニ設ケタノデアリマス

○山岡萬之助君 結局實際上常任監査ト云フヤウナヤリ方ガ此ノ頃發達シテ居ル結果デ、法律的ナ意味ヨリハ實際論ヨリ斯ウナサレタコトト思ヒマス、強テ此ノ規定ヲソレ以上非難スル考ハナイノデアリマスガ、監査ト云フモノト常務取締ト云フモノヲ混淆サレルト云フコトハ、業務遂行上望マシクナイト云フコトヲ考ヘテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、次ニ第八條第九條、若シハ統制命令等一般ニ關係スルノデアリマスガ、今日會社ニ對スル事續ガ甚ダ學ラナイモノニ付テ、業務ニ對シ具體的ニ監督スル爲ニ拘束ノ命令ヲ出シテ

居ルト云フヤウナコトハ、現行法第何條ニ依ッテナサレテ居ルノデスカ、大體八條デスカ、是等ノ規定デスカ、ソレヲ一ツ御示シヲ願ヒタイ

○政府委員(牧橋雄吉) 現行法ノ第十一條デゴザイマシテ、第十一條ニ「主務官廳カ保險會社ノ業務又ハ會社財産ノ狀況ニ依リ其事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキハ財産ノ供託若クハ事業ノ停止ヲ命シ又ハ期間ヲ定メテ業務執行ノ方法若クハ計算ノ基礎ノ變更ヲ命シ其他保險契約者、被保險者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ權利ヲ保護スルニ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」トゴザイマシテ、事業ノ繼續ガ困難デアルト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、第十一條ノ規定ヲ適用シテ居ル譯デゴザイマス

○山岡萬之助君 ソレデ具體的ニ會社ノ業務自體ヲ監視セラレルトハ諒解致シマシタ、現行法ノ監督命令或ハ基礎書類ノ變更トカ若シハ統制命令、其ノ他後ニ出テ參リマス色々ノ規定ガアリマスコト、此ノ案ガ法律トシテ施行セラレタ後ニ於テモ、尙今日ノ如ク業務ヲ拘束シテ監督シテ行カレル御考デアリマスガ、其ノコトヲ伺フト云フノハ、私ノ考ハ、今日ノ如ク業務ノ繼續ニ困難ガアラウカト云フモノニ付テ一々監視シテ居ル

ト云フコトハ、俗ニ申セバ半身不隨ニ何時迄モシテ置クト云フコトデアッテ、其ノ會社ハ到底都合好ク伸ビル見込ガナイト云フコトニ却テナッテシマッテ、若シ其ノ會社ヲ立派ニシヨウト云フナラ、監督スルコトハ極ク間接ニシテ、毎日ノ業務ヲ届出デシムルト云フ程度ニシテ、業務ノ遂行ダケハ大體他ノ通常ノ場合ト同様ニ遂行サセルコトガ宜イノデハナイカト思フノデアリマス、サウ云フ風ニ困難ナ處ガアリマス場合ニハ、八條其ノ他ノ規定ニ依ッテ實際ヲ調査シテ、何處ニ缺陷ガアルカト云フコトヲ極ク嚴重ニ取調ラ致シマシテ、此ノ點ニ缺陷ガアルト分

ルガ宜カラウト思フ、併シ一箇所ニ適當ナラザル即チ病源ガアリトスレバ、矢張り全體ノコトヲモ見ナケレバナラヌノデアリマスカラ、全體ニ關スル届出等ハ無論爲サシムベキモノデアリマセウ、然レドモ其ノ病源ダケガイカヌ點デアリマスカラ、サウ云フ所ニハ十分ナ注意ヲナサルコトハ宜イガ、一々ノ事ヲ財産ノ運用迄拘束シテ、他ノ會社ト甚ダシク變ッタヤリ方ヲシテ居ルヤウニ思フノデアリマスガ、併シ是ハ箇々ノ問題ダケニハ止ラナイノデアリマス、此ノ場合將來此ノ案ガ法律トシテ成立シタ後ニ於

テハ、監督方法ヲ變ヘラレル考ガアルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(牧橋雄吉) 色々ノ御示デゴザイマシタガ、此ノ法律ヲ御認メ願ヒマシタ場合ニ於キマシテハ、相當行政方針等ニモ改正ガ加ヘラルベキモノダト考ヘルノデアリマス、ソレガ又加ヘラレナイヤウデハ改正ヲシタ趣旨ガ達シナイカト考ヘマス、御示ノ點ハ將來具體的ノモノニ付キマシテ慎重ニ研究ヲ致シマシテ、御趣旨ノ點御尤ト考ヘマスノデ、出來ルダケサウ云フ風ニシテ行キタイト考ヘテ居リマス

○子爵會我祐邦君 山岡君ノ御質問ニアリマシタ第六條ニ付テ私チヨット承リタイノデスガ、此ノ株主ノ代表ニシテ業務遂行ノ責ニ任ジナイ監査役ガ、他ノ一方ノ常務ニ行クト云フコトヲ御制限ニナッテ御取締ニナルラシイデスガ、現在ノ有様ハ能ク存ジマセヌガ、損害保險デ申シマス、東京海上系ナラ東京海上系ト云フ會社ガ澤山アル、ソコノ監査役ガ、例ヘバ其ノ子分會社ト申シマスガ、其ノ方ノ常務ニ行ツタリ、或ハ專務ニナツタリシテ居ル人ガアリハシナイカト思ヒマスガ、實際ハサウ云フコトハ現在無イノデアリマスガ、現在ハサウ云フ制度ニナッテ或ハ何々系ト云ッテ御互ヒ再保險ヲ

持ツタリ、子分會社ヲ持ッテ居リマシテ、片方ノ監査役ガ片方ノ常務ニナリ、片方ノ常務ガ片方ノ監査役ニナツタリシテ居ルト思ヒマス、只今ノ御説明ニ依リマス、ソレ等ノ現實存在シテ居ルモノガ假ニアリトスレバ、ソレ等ハ將來出來ナイコトニナルノデアリマス、ドウ云フ風ニナルノデスカ、ソコノ點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(牧橋雄君) 現在監査役ヲ兼ネテ居ル者ガゴザイマス、今御示ノ損害保險ニ於キマシテハ、御承知ノ通り再保險ノ遣リ取りヲシテ居リマスカ、ソレ等ノ再保險ノ遣リ取りヲ圓滑ニスル意味ニ於キマシテモ、重役ガ他ノ會社ノ常務ヲ兼ネルト云フヤウナモノガ相當多イノデアリマシテ、是等ノ者ハ無論今後モ認メテ行クコトノ方ガ、却テソレ等ノ再保險關係等ニ圓滑ニ役立ツト考ヘテ居リマス

○子爵會我祐邦君 サウ致シマス、只今ノ御説明ノ前段ニアリマシタコトハ、嚴格ナ意味ニ於テハソレガイケナイト云フコトデアルケレドモ、例ヘバ實際問題トシテノ其ノ便宜アルガ爲ニ、主務大臣ガ之ニ認可ヲ與ヘルト云フ積リデア、斯ウ云フ風ニ解釋シテ宜シウゴザイマス

○政府委員(牧橋雄君) 今申上ゲタヤウナ

モノハ、認可ヲ與ヘテ支障ナカラシメヨウト云フ趣旨デゴザイマス

○子爵會我祐邦君 分リマシタ

○政府委員(牧橋雄君) 「第十一條保險會社命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業ニ關シ統制協定ヲ爲シタルトキハ之ヲ主務大臣ニ届出ヅルコトヲ要ス之ヲ變更又ハ廢止シタルトキ亦同ジ、主務大臣前項ノ統制協定ガ公益ニ反シ又ハ保險事業ノ健全ナル發達ヲ害スト認ムルトキハ其ノ變更又ハ取消ヲ命ズルコトヲ得、主務大臣保險事業ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲テ必要アリト認ムルトキハ保險會社ニ對シ第一項ノ統制協定ヲ爲スベキコトヲ命ジ又ハ同項ノ統制協定ノ加盟會社若ハ非加盟會社ニ對シ其ノ統制協定ノ全部若ハ一部ニ依ルベキコトヲ命ズルコトヲ得、是ハ昨日モ御尋ガゴザイマシタ統制協定ノ規定デゴザイマシテ、命令ノ定ムルヤウナ協定ヲ爲シタ場合ニハ主務大臣ニ届出デルコトヲ要ス、又變更廢止等ノコトヲ爲シタル場合ハ届出デナケレバナラスト云フ規定デゴザイマス、勿論不當競争ヲ防止スル意味ニ於ケル協定ヲ爲シタ場合ニ限ルコトハ昨日申上ゲタ通りデゴザイマス、第二項ハ、其ノ統制協定ガ却テ公益ニ反スル、或ハ保險事業ノ健全ナル發達ヲ害スルト云フ

ヤウナコトガ若シ假ニアリト致シマスレバ、其ノ變更又ハ取消ヲ命ズルコトガ出來ルト云フ規定デゴザイマス、第三項ハ、主務大臣ガ保險事業ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲ニ特ニ必要ガアルト認メルヤウナ場合ニ於キマシテハ、保險會社ニ對シマシテ不當競争ヲ防止スル意味ニ於ケル協定ヲ爲スベキコトヲ命ジマス、又ハ必要アル場合ニ於キマシテハ、其ノ統制協定ノ加盟會社若シクハ非加盟會社ニ對シマシテ、其ノ協定ノ全部若シクハ一部ニ依ルベキコトヲ命ズルコトガ出來ルヤウニシタイト云フ趣旨デゴザイマス、是ハ御尋モゴザイマシテ一應ノ御説明ヲ申上ゲテ置キマスガ、更ニ御尋ニ依リマシテ御答ヘ致シマス、「第十二條保險會社ガ法令、主務大臣ノ命令若ハ第一條第二項ニ掲グル書類ニ定メタル特ニ重要ナル事項ニ違反シ又ハ公益ヲ害スベキ行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ取締役若ハ監査役ノ解任若ハ事業ノ停止ヲ命ジ又ハ事業ノ免許ヲ取消スコトヲ得、是ハ現行法ノ第十二條ニ規定デゴザイマス、現行法ノ第十二條ト違フ點ハ、保險會社ガ法令ニ違反スル場合、現行法ニ於キマシテハ本法ニ違反シタ場合トナツテ居ルノデアリマスガ、今回ハ他ノ立法例ニ倣ヒマシテ、本法以外ノ法令ニ違反

スル場合ニモ是等ノ處置ガ出來ルト云フ趣旨デゴザイマス、ソレカラ「又ハ公益ヲ害スベキ行爲ヲ爲シタルトキハ」ト云フノガ新クニ附加ヘラレテ居リマス、是ハ他ノ立法例等ニモアルノデアリマスガ、保險會社ガ公益ヲ害スルヤウナ行爲ヲ爲シタルトキハ是等ノ處置ガ執リ得ルヤウニシタイト云フ趣旨デゴザイマス、「第十三條保險事業ヲ營ム株式會社ノ定款ニハ商法第百六十六條第一項ニ掲グル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス、一保險ノ種類及營業ノ範圍、二設立費用ノ償却ノ方法、是ハ現行法ノ第十四條ト趣旨ヲ同ジクスル規定デゴザイマス、字句ニ幾分ノ修正デゴザイマシタノト、商法ノ規定ガ新クニ變リマシタ爲ニ此ノ條文ノ「第百六十六條第一項」ト云フモノガ現行法デハ「第百二十條第二號乃至第八號ニ掲ケタル事項」トナツテ居ルニ過ギナイノデゴザイマス、「第十四條株式申込證ニハ前條及商法第百七十五條第二項ニ掲グル事項ヲ記載スルコトヲ要ス」トアリマシテ、是ハ現行法ノ十七條ト同ジデゴザイマス、商法ノ規定ガ改正商法ニ依ッテ違ッテ居ルニ過ギマセヌ、「第十五條會社ハ第十三條及商法第百八十八條第二項ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス」是ハ現行法ノ十八條デゴ

ザイマシテ、商法第百八十八條第二項ト申シマスノハ一般ノ登記事項ニ關スル規定デアリマス、ソレ等ノ事項ヲ登記スルコトヲ要スト云フ規定デアリマス、現行法ト同ジ意味デアリマス

○山岡萬之助君 此ノ統制協定ノコトニ付キマシテハ、今迄段々質問應答ガ交換サレテ居リマスノデ、今迄ノ質問應答等ニ於テハ、事業遂行ノ爲ニスル範圍ノ統制協定ト云フコトニ大體アルノデアリマスガ、保險會社ノ種類ニ依リマシテ、生命保險トカ火災保險トカ、ソレゾレ聯合體ニナツテ居ルコトト今日モ思ハレマスガ、ソレ等ヲ強化シテ行クコトモ矢張り此ノ條文ガ運用サレル譯デアリマスカ

○政府委員(牧野雄君) 主トシテ不當競争防止ニ關スル協定ヲ爲シタル場合ニ適用ガアルノデアリマシテ、其ノ事項ハ昨日モ申上ゲタ通りデアリマスガ、此ノ生命保險ト申シマシテモ一番特殊ノ例ヲ申上ゲマスト、徴兵保險ト云フヤウナモノゴザイマスガ、徴兵保險會社ハ四社アリマシテ、ソレ等ノモノガ、是ハ實例ニモゴザイマスガ、昭和十二年ノ一月一日以降收入保險料ニ對スル集金手数料ノ率ヲ協定シタ例ガアリマス、是等ハ集金手数料ヲ餘計出スコトニ依ッ

テ各代理店ノ歡心ヲ買ヒマシテ、サウシテ自己ノ會社ノ業績ヲ擧ゲヨウト云フコトニナリマシテ、相當之ニ無理ナ手数料ヲ出スト云フヤウナ傾向ガアッタノデ、四社デ協定致シマシテヤツテ居ルヤウナ例ガゴザイマス、色々保險種類ニ依リマシテ全部ノ會社ガ協定スルヤウナコトニハ立到ラスヤウナ場合モアリマスガ、是等ノ協定アル場合ニ、一定ノ公法的ノ效果ヲ與ヘマシテ、サウシテ協定ノ目的ヲ達セシメヨウト云フ趣旨デアリマシテ、積極的ニ何等カノ行爲ヲ爲サシメヨウト云フ趣旨ハ持ッテ居リマセヌ、次ニ第十六條會社ハ設立費用及營業費ノ全額ヲ償却シタル後ニ非ザレバ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ得ズ、商法第二百九十條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス、是ハ現行法ノ十九條但書ト全然同一デアリマス、第二項ノ「商法第二百九十條第二項ノ規定」ト云フモノハ、不當配當ノ返還ニ關スル規定デアリマシテハ之ヲ第一項ノ場合ニ準用スルコトニシタノデアリマス、「第十七條會社ガ資本減少ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間内ニ決議ノ要旨及貸借對照表ヲ公告スルコトヲ要ス、第二十八條、第百十二條第二項第三項、第百二十條及第百二十八條第三項ノ規定ハ資本減少ノ場合ニ

之ヲ準用ス、是ハ現行法ノ二十條ト趣旨ヲ同ジクスルノデゴザイマス、少シ字句ヲ變ヘマシテ「其ノ決議ノ日ヨリ」ト改メマシタノハ、現行法ニ於キマシテハ「之ニ關スル定款變更ノ認可ノ日ヨリ」トナツテ居リマス、ソレカラ「決議ノ要旨」トシマシタノハ、現行法ニ於キマシテハ「減少スベキ金額、減少ノ方法」ト云フヤウナコトニナツテ居リマスガ、是ハ全然同ジ意味デゴザイマス、ソレカラ第二項ノ「第二十八條」ト云フノハ組織變更ノ認可ノ規定デアリマスガ、「第百十二條第二項第三項、第百二十條及第百二十八條第三項ノ規定」ト申シマスモノハ契約ヲ移轉スル場合ノ異議ヲ問フ規定デアリマシテ、是等ノ規定ヲ資本減少ノ場合ニ準用スルコトニシタ譯デアリマス、「第十八條會社ガ資本減少又ハ合併ノ決議ヲ爲シタル場合ニ於テ商法第一項但書ノ期間ハ一月迄之ヲ下スコトヲ得資本減少又ハ合併ニ依ル株式併合ノ場合ニ於テ商法第三百七十七條第一項但書ノ期間ニ付亦同ジ」、是ハ資本減少又ハ合併ノ決議ヲナシタル場合ニ其ノ手續ヲ簡易化シタイト云フ趣旨デアリマシテ、是ハ本改正案ノ要旨ニ付キマシテ御説明シタ時分ニ御説明申上ゲタと思ヒマスガ、商法ノ第百條第一項但書ト申シマスノハ、異

議申出ノ公告催告等ガ二箇月ニナツテ居ルノヲ、一箇月迄短縮スルト云フコトニスル趣旨デアリマス、商法第三百七十七條第一項但書ト申シマスノハ、株式ノ併合ニ付キマシテ株券ノ提出期間ガ三箇月ニナツテ居ルノヲ一箇月ニ短縮スルト云フ趣旨デアリマス、是ハ現行法ニ例ガアリマシテ之ニ倣フ譯デアリマス、「第十九條保險事業ヲ營ム株式會社ハ其ノ組織ヲ變更シテ之ヲ相互會社ト爲スコトヲ得、前項ノ相互會社ノ基金ハ第三條ノ規定ニ拘ラズ其ノ總額十萬圓ヲ下リ又ハ之ヲ設ケザルコトヲ得、第一項ノ場合ニ於テハ損失ノ填補ニ備フル爲主務大臣ノ必要ト認ムル額ノ準備金ヲ設クルコトヲ要ス」、是ハ組織變更ニ關スル新シイ規定デアリマシテ、是ハ本議會ニ於キマシテモ二三回、斯ウ云フコトヲスル考ハナイカト云フノデ御質問ガゴザイマシテ、サウシテ商工省ハ將來研究ノ上適當ナル機會ニ改正シタイト思フト云フコトヲ、謂ハバ御約束申上ゲタ事項デゴザイマス、本同之ヲ改正ニナツタ譯デアリマシテ、第二項ノ趣旨ハ、株式會社デ保險會社ヲヤツテ居ルモノニ於キマシテモ、相當ノ團體ヲ構成致シマシタ場合ニ於キマシテハ、基金等ノモノヲ持タズニ相互會社ニ變更致シマシテモ、其

ノ經營ニ支障ヲ來サナイヤウナモノガ想像
サレマスノデ、或ハ基金ノ總額ガ十萬圓ヲ
下リ又ハ全然基金ノナイ相互會社ヲ設立ス
ルコトガ出來ルト云フヤウニシタ趣旨デゴ
ザイマス、第一項ノ場合ニ、即チ株式會社
ヲ相互會社トシタ場合ニ、必要ニ依リマシ
テハ損失ノ填補ニ備フル爲ニ或ハ準備金ヲ
設クルコトガ必要デアルト云フ規定ヲ設ケ
タノデアリマス、此ノ準備金ト申シマスノ
ハ擔保資金ノ意味デアリマス、第二十條組
織變更ハ株主總會ノ決議ヲ經ルコトヲ要
ス、前項ノ決議ハ商法第三百四十三條ノ規
定ニ依ルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ、
組織變更ト申シマス、此ノ株式會社ガ相
互會社ニナルノデゴザイマスカラ、株主若
シクハ債權者ニ取リマスルト資本減少ノ極
端ノ場合トモ考ヘラレルノデアリマス、從ッ
テ株主ノ總意ヲ以テ此ノ組織變更ヲナサシ
メヨウト云フ趣旨デゴザイマス、從ッテ第二
項ニ於キマシテハ、此ノ總會ノ決議ハ特別
決議ニ依ラシメヨウト云フ趣旨デアリマス、
商法第三百四十三條ノ規定ト申シマスルノ
ハ、株主總會ノ特別決議ニ關スル規定デゴ
ザイマス

御説明ニナリマシタガ、何ガ故ニサウ云フ
風ニナサル必要ガアルノデアリマスカ、一
般ニ會社ノ資本減少、合併ノ決議ト云フヤ
ウナコトハ相當ニ重大ナ事柄デアリ、他ノ
通常ノ會社デハ必要ナモノトシテ額ハ決メ
テアル、ソレヲ斯ウ云フ公益的ナ會社デア
ルノニ特例ヲ開クト云フコトハ、別ニ必要
ガナカラウト思フガ、又一月ニ下シタカラ
ト云ッテ大シタ改正ニモナラナイ、寧ロ無用
ノ規定デヤナイカト思ハレルノデアリマス
ガ、之ヲ尙必要トシタ理由ハ何レニアルカ、
會社ノ資本力若シクハサウ云ツタ事柄ハ、
保險會社ニ於テハ、保險金額ニ對スル被保
險者利益ノ關係ヨリモ、サウ重イコトデナ
イト云フ意味デアレバソレハ肯ツケマスケ
レドモ、大シタ理由ガナイヤウニ思フ、又
大シタ便利モナイヤウニ思ヒマス、ドウ云
フコトデアリマセウカ

○政府委員(牧橋雄君) サウ云フ御意見御
尤モト存ジマス、唯是ハ業者カラ非常ニ希
望ガゴザイマシテ入レタノデアリマスガ、
銀行法等ニ例ガゴザイマシテ、ソレニ倣ツタ
譯デアリマス、保險會社デハ保險契約者以
外ノ一般債權者ト株主ノ數ハ、通常ニ於テ
ハ非常ニ數ガ少ナイノデアリマス、サウ云
フ關係カラ致シマシテモ、其ノ期間ガ短縮
サレマシタコトニ於テ別段ノ支障ヲ生ズル
ヤウナコトハナイト考ヘマス、尙一面ニ於
キマシテハ、之ニ依リマシテ手續ガ促進セ
ラレマスカラ、種々ノ點ニ於テ利益モアラ
ウト云フヤウナ考ノ下ニ此ノ期間ヲ短縮シ
タノデゴザイマス

○男爵伊藤文吉君 第十九條ノ第二項ト三
項ガチヨット分リ兼ネマスガ、ドウ云フ場合
ニ起ルノデセウカ、例示シテチヨット御説明
ヲ願ヒタイト思ヒマス、十九條ノ株式會社
ガ組織變更スル場合ノ、第二項第三項ノ點
デアリマス

○政府委員(牧橋雄君) 第十九條ノ第二項
ハ組織變更ニ依ル相互會社ノ基金デアリマ
ス、此ノ場合ニハ特ニ新タニ基金ヲ募集シ、
又將來ソレヲ償却スル等ノ手數ヲ用ヒル必
要ハナイト云フ趣旨デアリマス、併シ會社
ガ其ノ事業ヲ圓滑ニ運シデ行ク爲ニ付キマ
シテハ、株金、基金其ノ他或程度ノ擔保資
金ヲ必要トスルト云フ點ニ於キマシテハ、
一般ノ場合ト同ジデアリマスカラ、第三項
ニ於キマシテ相當ノ準備金ヲ設クルト云フ
コトヲ規定シタ譯デアリマス、ソレカラ株
式會社ハ組織變更ニ依リマシテ、商法ノ規
定ニ依ル法定準備金ノ積立ノ義務ヲ免レル
コトニナルノデアリマスカラ、通常從來ノ

法定準備金ヲ之ニ振替ヘル、第三項ノ場合
ノ準備金ニ振替ヘルコトニナルト考ヘルノ
デアリマス、尙此ノ外ニ從來ノ任意準備金
ヲ其ノ儘殘シテ置クコトガ出來ルト云フコ
トハ申ス迄モナイ譯デアリマス

○男爵伊藤文吉君 私ドモ素人デ能ク分リ
兼ネマスガ、例ヘテ見レバ、第二項ノ如キ
ハ、株式會社ガ十萬圓ノ資本金デアッタ、ソ
レヲ償却シテ五萬圓ニナツタ、サウ云フ場合
ニ組織變更ヲシテ、相互會社ニナル時ハ其
ノ五萬圓ガ基金ニ變ル、又全部資本金ガ償
却サレタヤウナ場合ハ此ノ基金ガナクトモ
宜イ、サウ云フヤウナ意味ノコトデアアルノ
カドウモ能ク分ラナイノデス、第二項ハド
ウ云フヤウナ場合ニ當ルノデアリマセウカ

○政府委員(牧橋雄君) 株式會社タル保險
會社ガ相當規模ガ大キクナリマス、諸積
立金、準備金等ノモノガ相當蓄積サレマス
カラ、基金ト云フモノヲ持タナクテハ相互
會社ニ變更スルコトハ出來ナイトスル必
要ガナカラウト云フ趣旨デゴザイマス

○男爵矢吹省三君 今ノコトニ關聯シテチ
ヨット伺ヒタイト思ヒマス、今政府委員ガ例
ニ御舉ゲニナリマシタガ、非常ニ良イ會社
ガ相互會社ニ變ルト云フ場合ノ例デアリマ
スガ、此ノ場合株式會社ガ相互會社ニナル

ト、大變ソコニ財産ガ残ルト云フコトニ
ナツテ、其ノ殘ツタ財産ハ株主ガ分ケテ、サウ
シテ責任準備金ニ當ル資産ダケヲ殘シテ、
ソレデ相互會社ヲ作ル、而シテ所謂法定準
備金等ノ若干ノ準備金ヲ殘シテ、ソレヲ第
三項ノ準備金ニ引當テル、結局良クナツタ株
式會社ガ、株主ノ利益ノ爲ニ相互會社ニ變
ル、斯ウ云フ場合ヲ想像スルノデアリマス
カ、ソコヲ伺ッテ見タイノデアリマス

○政府委員(牧橋雄君) 實際ノ場合トシテ、
株式會社トシテ非常ニ業績ガ宜シイト云フ
ヤウナモノガ、擔保資金デアル資本或ハ事
業資金デアル資本ト云フヤウナモノガ要ラ
ナイ、非常ニ經營ノ基礎ガ堅實デアルト云
フヤウナ場合ニ、事業資金トシテモ擔保資
金トシテモ、株式ト云フモノハ不要ニナツ
來ルト云フヤウナ場合ニ、相互會社ニ變
ト云フヤウナ場合ガ想像サレルカト思ヒマ
ス

○男爵矢吹省三君 サウ云フ場合ハ、結局
ソコニ株式會社トシテノ財産ガ殘ル場合ダ
ラウト思フノデアリマシテ、相互會社ニ變
更サレル時ハ、其ノ殘ツタ財産ハ株主ニ分配
サレルト云フコトニナルノデハナイカト思
ヒマスガ、サウ云フコトヲ想像シテ宜シイ
デセウカ

○政府委員(牧橋雄君) 株主總會デ其ノ組
織ヲ變更スル場合ニ、如何ナル決議ヲスル
カハ色々ナ場合ガアラウカト考ヘマスガ、
御尋ノヤウナ場合モアラウカト考ヘマス、
但シ株主ガ株主ノ利益ヲ圖ル爲ニ非常ニ不
當ナル決議ヲスルト云フヤウナ場合ニハ、
主務官廳デ此ノ決議ノ認可ヲシナイト云フ
ヤウニ考ヘテ居リマス

○男爵矢吹省三君 此ノ規定ハ、今政府委
員ガ御引用ニナリマシタヤウナ場合モ含ミ、
又其ノ他株式會社デ經營シテ居ッタノデアリ
マスケレドモ、ソレヲ相互會社デ經營スル
方ガ更ニ堅實ナル發達ヲスルデアラウト云
フヤウナ爲ニ、斯ウ云フ組織變更ヲスル場
合モアルノデハナイカト思フノデ、非常ニ
宜ク行ッテ居ル株式會社ノ場合ト、普通ニ經
營サレテ居ル株式會社ノ場合トガ想像サレ
ルノデアリマスガ、惡イ會社ガ相互會社ニ
スルコトニ依ッテ宜クナルカモ知レスト云
フヤウナ場合モ想像シ得ルノデアリマスガ
○政府委員(牧橋雄君) 惡イ業績ヲ擧ゲテ
居ナイ會社ガ相互會社ニ變ルヤウナ場合ハ、
實際問題トシテハ少カラウカト考ヘマス、
主トシテ業績ノ良イ會社ガ株金即チ事業資
金トシテモ擔保資金トシテモ、株金ト云フ
ヤウナモノヲ必要トシナイ、サウ云フ場合

ニ於キマシテ、相互會社ニ變ルヤウナ場合
ガ想像セラレテ居ルノデアリマシテ、業績
ガ良クナイト云フヤウナモノニ付キマシテ
ハ、矢張り或程度ノ擔保資金ガ要ルノデナ
イカト考ヘラレマスカラ、サウ云フ場合ハ
出來ナイコトハナイトモ思ヒマスガ、實際
ノ場合トシテハ想像シ難イノデハナイダラ
ウカト考ヘテ居リマス

○男爵矢吹省三君 非常ニ經營ノウマク行ッ
テ居リマスル株式會社ノ場合ヲ例ニ擧ゲテ
見マスルト、其ノ株式會社タル保險會社ヘ、
契約者ノ勘定ニ屬スベキ責任準備金ニ對應
スル資産以外ニ、株主勘定トシテ見ルベキ
資産ガ隨分多額ニ上ッテ居ルト思フノデアリ
マシテ、ソレ等ノ會社ガ現狀ノ儘株式會社
デ經營シテ行クトスルナラバ、株主ニ對ス
ル配當ハ相當高率ナ配當ガアルノデアリマ
スケレドモ、ソレ以外ニ株主トシテノ利益
ハ餘リナイノデ、從ッテ此ノ十九條ノ規定ガ
出來マス、此ノ規定ノ適用ニ依リマシテ、
斯クノ如キ株式會社ハ組織ヲ變更シテ相互
會社ニシテ、其ノ株主勘定ニ屬スベキ資産
ヲ相當株主ニ分配スルト云フコトガ、非常
ニ株主トシテハ利益デアルト云フコトヲ知ッ
テ、此ノ適用ニ依ッテ續々ト相互會社ニ移ル
ヤウナモノガ出來ルノデヤナイカト思ヒマ

スルガ、而シテ政府委員ノ御答ニ依レバ、
ソシナコトハ差支ナイヤウデアリマスガ、
サウ云フヤウナ傾向ヲ生ズルモノト見デ宜
シイノデアリマセウカ

○政府委員(牧橋雄君) 御尋ノ御趣旨能ク
分リマシタ、株主勘定ニ屬スル金ヲ分配シ
テシマフト云フヤウナ意味デ、株主總會ガ
決議ヲスルト云フヤウナコトハ想像サレル
ノデアリマスガ、非常ニ業績ノ宜シイモノ
デアリマス、此ノ際組織變更ヲヤリマシ
テ、株主ニ歸屬スベキ財産ヲ分ケテシマフ
ト云フヤウナコトガ想像セラレル場合モア
ラウカト思ヒマスガ、ソレ等ハ又一面非常
ニ弊害モ想像サレマスルカラ、ソレ等ノ場
合ニ於キマシテハ認可シナイト云フヤウナ
場合モアラウ、適當ナ措置ヲ執リタイト思
ヒマスガ、從ッテ是等ノ規定ニ依リマシテ、
株式會社ガ續々相互會社ニナッテ行ク、サウ
云フコトノ爲ニ生ズル弊害ト云フヤウナコ
トハ想像セラレナイト考ヘテ居リマス
○男爵矢吹省三君 左様ナモノハ認可シナ
イト仰シヤイマスケレドモ、十九條ノ第二
項ニ依リマス、其ノ新タニ出來ル相互會
社ノ基金ハ、十萬圓ヲ下リ又ハ之ヲ設ケ
ザルコトヲ得ルト云フ規定ガアリマスノデ
スカラ、斯カル株式會社ガ組織ヲ變更シテ

相互會社ニスル場合ニ、只契約者ノ勘定ニ屬スベキ資産ダケヲ殘シテソレヲ以テ相互會社ヲ作ル、デ株主勘定ニ屬スベキモノハ全部相互會社ニ移サズニ自分達ガ分配スルト云フコトガアツテモ、此ノ第二項カラ見テ差支ナイノデヤナイカト思フノデアリマスガ、其ノ場合ニ主務大臣ガ認可シナイトスルナラバ、其ノ根據ハ何處ニアルノデスカ

○政府委員(牧橋雄君) 理窟カラ申シマスルト、株主勘定ニ屬スベキ財産ヲ、株式總會ノ決議ニ依ツテ分ケル、サウ云フヤリ方ニ依ツテ組織ヲ變更スルコトハ差支ナイト思ヒマスガ、ソレガ著シク不當デアルト云フヤウナ場合デアラウト思フノデアリマスカ、サウ云フ場合ニハ決議ヲ認可シナイコトガ出來ルト考ヘマス、普通ニ計算ヲ致シマシテ、株ノ時價或ハ利廻其ノ他等カラ考慮致シマシテ、ソレニ相當スルモノデアリ、株主勘定ニ屬スベキ財産ヲ分ケルノデアレバ是ハ差支ナイカト思ヒマス、非常ニ不當ナ場合ニ於キマシテハ之ヲ認可シナイト云フコトガ出來ルト思ヒマス

○男爵矢吹省三君 其ノ惧レテ居リマス不當ト云フコトハドウ云フコトヲ御指シニナルカ存ジマセヌガ、相當業績ノ良イ株式會社ガ、組織ヲ變更シテ相互會社ニナラウト

云フ場合ハ、不當ト言ハレル程度デナク、當然デアツテ、而モ相當ナ財産ガ株主ニ分配サレル場合ガアリ得ルト思ヒマスカラ、其ノ不當ト云フ意味ハ、若モ株主ガ多額ノ分配ヲ受ケルカライカスト云フ不當デアルナラバ、其ノ考ヘ方モ間違ッテ居ルノデハナйкаト思ヒマスガ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(牧橋雄君) 現行法ニ於キマスル契約移轉ノ場合ニ於ケル認可モ同ジデアリマスガ、可ナリ行政上ノ裁量ヲ用ヒル餘地ガ殘サレテ居リマス、今回改正致シマス第二十八條ニ於キマシテモ同様ナ趣旨デアリマシテ、非常ニ不當デアル、サウ云フ傾向ヲ生ズルコトニ依ツテ保險事業ノ發達ニ支障ヲ來スト云フヤウナ場合ガ想像サレレバ、之ヲ認可シナイト云フコトモ出來ルト思ヒマス

○男爵矢吹省三君 私ハドウモ此ノ第二項ヲ見マスト、詰リ其ノ基金ニ當ルモノガ十萬圓ヲ下ツテモ宜シイ、或ハ之ヲ設ケナクテモ宜シイト云フコトガアリマス以上ハ、相當株式會社ノ組織ヲ變更スル場合ニ、相互會社ニナツテ基金ヲ餘リ設ケズ、サウシテ契約者ノ勘定ニ屬スベキ財産ヲ相當取ツテ、尙ソコニ何ナリ大キナモノガ株主勘定トシテ

殘ル、ソレヲ分配スルト云フコトハ想像シ得ルノデアリマシテ、サウ云フ場合ハ差支ナイト思フノデアリマス、併シナガラ政府委員ノ御考カラ見ルト云フト、サウ云フヤウナコトハ餘リサシクナイヤウナ思召デアリマスカラ、サウ云フ思召ニ副フガ爲ニ、株式會社ガ相互會社ニナル場合ニハ、其ノ儘ノ財産ヲ以テ相互會社ニナルノダト云フコトデ、其ノ間ニ乗ジテ株主勘定ニ屬スベキモノハ分配スルノ餘地ノナイヤウナコトガ御趣意ニ合スルノデハナイカト思ヒマスカ……

○政府委員(牧橋雄君) ソレモ少シ如何カト考ヘマスガ、株式勘定ニ屬スル計算上當然ナ財産デアレバ、之ヲ分配シテ組織變更スルコトノ方ガ適當デナイカト思ヒマス、尙附加ヘテ申上ゲマスガ、此ノ組織變更ハ株式ニ對スル關係ト、ソレカラ契約者ニ對スル關係ガゴザイマス、ト申シマスノハ、契約者ハ組織變更ノ結果相互會社ノ社員トナリマスカラ、法律關係ニ於テ非常ニ重要ナル變更ガアル譯デアリマス、從ツテ全契約者ノ總會ノ決議ヲ經ルト云フコトニ依ツテ組織變更ガ出來ルト云フコトニナリマス、株主總會ニ於テモ決議ヲシ、全契約者即チ利害關係ノ最深イ全契約者ノ總意ヲ以テ

組織變更ヲスルト云フコトニナレバ、其ノ結果ト致シマシテハ妥當ナ結果ガ現レルノデハナカラウト思ヒマス、從ツテ其ノ株主ガ自己ノ利益ノ爲ニ非常ニ多額ノモノヲ分配スルト云フガ如キコトハ、實際上ハサウ云フ仕組ノ爲ニ出來得ナイノデハナカラウカト考ヘマス

○男爵伊藤文吉君 私モ只今ノコトニ關聯シテチヨット伺ヒタイト思ヒマスガ、ドウモ私ハ此ノ株式會社ガ組織變更ヲシテ相互會社ニナル場合ハ、矢張り株主ノ利益ニナル爲ニナル場合ガ多イト想像サレルノデハナイカト思ヒマス、ソレドドウ云フ場合ニ株式會社ガ組織變更ヲスルカ、サウ云フ場合ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(牧橋雄君) 仰セノヤウナ場合ガ多カラウト思ヒマスガ、是ハ外國デモ立法例ガアルノデアリマスガ、實際上ハ餘リ變リハナイヤウデアリマス、主トシテマア打明ケテ話ヲ申シマスルト、少シ餘談的ニナリ過ギマスガ、業者ノ中ニ幾分希望ガアツタト云フヤウナ點デ入レタノデゴザイマスガ、併シ今仰セノヤウナ場合ハ實際上アリ得ルカト思ヒマス、サウ云フ場合ニハ變更ガ出來ナイヤウニ致シタイト云フ趣旨デゴザイマス

○男爵伊藤文吉君 サウスルト今矢吹男爵
ガ言ハレルヤウニ、株式勘定ニ屬スルモノ
ハ之ヲ株主ニ分ケテモ一向不當デアルトハ
思ハレナイヤウニ思ヒマスガ、其ノ點ヲモ
ウ一應伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(牧嶺雄君) 其ノ高ニ依リマシ
テ不當ナ場合ガアラウト考ヘラレルノデア
リマスガ、實際問題トシテハ、株主總會ト
契約者總會ト云フ二重ノ總會ノ決議ヲ經テ
ヤル、詰リ株主モ總會ヲ以テ定メ、契約者
モ總會ヲ以テ定メタト云フコトデアリマス
レバ、多クノ場合ハ妥當ナル結果ガ出ルダ
ラウト思ヒマス、ソレカラ第二十一條ニ參リ
マスガ、第二十一條、會社ガ組織變更ノ決
議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週
間内ニ決議ノ要旨及貸借對照表ヲ公告シ且
株主名簿ニ記載アル質權者ニハ各別ニ之ヲ
通知スルコトヲ要ス、第百十二條第二項及
第三項竝ニ商法第九十九條及第百條ノ規定
ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス、但シ商法第百
條第一項但書中二月トアルハ之ヲ一月ト
ス、ハハ組織變更ノ場合ノ手續規定ガズッ
ト此ノ中ニ竝ンデ居リマスガ其ノ規定デ
アリマシテ、公告ト異議ノ催告ニ關スル規
定デアリマス、會社ガ組織變更ノ決議ヲ爲
シタルトキハ、其ノ決議ノ日カラ二週間内

ニ決議ノ要旨及貸借對照表ヲ公告スル、ソ
レカラ株主名簿ニ記載アル質權者ニ各別ニ
之ヲ通知スルコトガ必要デアリマス、ソレ
デハハ一般債權者ノ場合ト同様に扱フ定メ
タ規定デアリマス、ソレカラ第百十二條第
二項及第三項ト云フノハ異議ヲ問フ規定デ
アリマス、ソレカラ商法第九十九條及第百

條ノ規定ハ一般債權者ニ對スル異議ヲ問フ
規定デ、是等ハ前項ノ場合ニ準用スルコト
ヲ規定シタルデアリマス、第二十二條、會
社ガ前條第一項ノ公告ヲ爲シタル日以後保
險契約ヲ爲サントスルトキハ保險契約者タ
ラントスル者ニ組織變更ノ手續中ノ旨ヲ通
知シ其ノ承諾ヲ受クルコトヲ要ス、前項ノ
承諾ヲ爲シタル保險契約者ハ組織變更ノ手
續ノ關係ニ於テハ之ヲ保險契約者ニ非ザル
者ト看做ス、會社ガ前條ノ公告ヲ爲シタル
日以後ニ保險契約ヲ爲サントスル時ニハ、
保險契約者タラムトスル者ニ、組織變更ノ
手續ヲシテ居ルト云フ旨ヲ通知シマシテ、
其ノ承諾ヲ受ケネバナラヌト云フ規定デア
リマス、其ノ承諾ヲ爲シタル保險契約者ハ、
組織變更ノ手續ノ關係ニ付テハ、之ヲ保險
契約者デナイモノト看做ス、即チ契約者總
會、先程申シ上ゲマシタル契約者總會等ノ實績
トカ或ハ異議ノ申立等ニ於キマシテハ、何

等ノ法律關係ヲ生ジナイト云フ規定デアリ
マス

○委員長(伯耆澤山愛輔君) 此ノ程度デ午
前ハ休憩致シマシテ、午後ハ御同意ガアレ
バ一時半カラ又開會致シマス、御差支アリ
マセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯耆澤山愛輔君) ソレデヤ此ノ
程度デ休憩

午後零時二分休憩

午後二時五分開會

○委員長(伯耆澤山愛輔君) ソレデハ是カ
ラ引續イテ會議ヲ續ケルコトニ致シマス、
ソレデハ政府委員ニ引續キ箇條々々ニ付テ
説明ヲ御願ヒシマス、一箇條、一箇條是迄
説明ヲ御願ヒシテ置キマシタガ、ナカ
ノ中最初ノ三十三箇條バカリハ大分説明ヲ
要スル必要モアルヤウニ思ハレマスガ、ア
トノ方ハ大體現行法ト大シタ差ハナイノデ
ゴザイマスカラ、是カラ先ハ政府委員ノ御
説明ニハ適當ニ此ノ條項ヲ束ネテ戴イテ、
サウシテ大體ノ説明ヲ願フコトニ致シタイ
ト思ヒマスカラ、ドウカ左様御承知置キヲ
願ヒマス

○政府委員(牧嶺雄君) 朗讀ハ省略サシテ

戴キマシテ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、
第二十三條ハ保險契約者總會ノ招集ニ關ス
ル規定デゴザイマシテ、是ハ相互會社ノ創
立總會ニ近イ性質ヲ帶ビタモノト考ヘラレ
ル譯デゴザイマス、併シナガラ保險契約者
ノ數ハ會社ニ依リマシテハ百萬ノ超エル
ヤウナモノガゴザイマスノデ、多クノ場合
ニ於キマシテハ二十四條ニ規定ガゴザイマ
シテ、此ノ代行機關ニ依ッテ保險契約者總
會ト云フモノヲ招集スルコトニナルダラウト
思ヒマス、是ハ先程申上ゲマシタ通りニ
組織ヲ變更スル場合ニ株主ニ對スル關係ニ
於キマシテハ株主總會、ソレカラ變更後ノ
相互會社ニ保險契約者ガ社員トシテ入社ス
ルト云フ關係ニ於キマシテ契約者總會ト云
フモノノ議決ヲ經ルコトヲ要スルトシタ次
第デアリマス、併シナガラ今申上ゲマス通
リニ契約者ト云フモノハ非常ニ多數ゴザイ
マスカラ、便宜保險契約者總代會ト云フヤ
ウナモノヲ設クルコトガ出來ルコトニシタ
譯デアリマス、是ハ第二十四條ニ規定ヲ置
イテ居リマス、二十三條、二十四條、サウ
云フコトト、手續ニ關スルコトガ若干書イ
テゴザイマス、二十五條ニ於キマシテハ此
ノ決議ノ方法ヲ書イタノデゴザイマシテ、
保險契約者ノ半數以上ガ出席シマシテ、其

ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ議決ヲスル、
二項ニ於キマシテハ、創立總會検査役ノ選
任ノ規定ヲ保險契約者總會ニ準用スルト云
フ規定デアリマス、二十六條ハ組織變更ニ
關スル事項ヲ取締役ガ保險契約者總會ニ報
告スルコトヲ要スト云フ規定デアリマシテ、
商法ノ百八十二條ニ準ジテ規定ヲシタモノ
デゴザイマス、二十七條ハ保險契約者總會
ニ於ケル手續法ヲ規定シタノデアリマス、
即チ組織變更ノ方法等ニ付キマシテハ、既
ニ第二十條ニ於キマシテ株主總會ガ之ヲ決
議シテ居ル譯デアリマス、併シナガラ株主ハ
其ノ持ッテ居リマス株式ノ代價トシテ受ク
ベキ對價、先程モ御話ニナリマシタ對價、
其ノ他謂ハバ組織變更ノ消極的方面ニ重點
ヲ置イテ其ノ決議ヲシテ居ルモノト考ヘラ
レマスカラ、組織變更ニ依ッテ新タニ出來マ
スル相互會社ノ組織ト其ノ他組織變更ノ積
極的方面トモ謂フベキ點ニ付キマシテハ、
今回組織變更ニ依ッテ社員タルベキ保險契
約者ノ總會ニ依ッテ之ヲ再檢討スル、又不備
ノ點ガアレバ補正セシムルト云フコトヲ適
當ト考ヘタ譯デアリマス、併シナガラ會社
ノ一般債權者ニ付キマシテハ、既ニ異議、
催告ノ手續ヲ終了シテ居ルノデアリマスカ
ラ、改メテ之ヲスルト云フヤウナ煩瑣ナ關

係ヲ生ジナイヤウニ第二項ノ但書デ會社
ノ債權者ノ利益ヲ害スルコトヲ得ナイト云
フコトニシテ居ル譯デアリマス、又其ノ
契約者總會ニ於キマシテ、株主ニ損害ヲ及
スヤウナ場合、契約者總會デ……一度決メ
タ株主總會ノ議決ヲ變ヘマシテ、サウシテ
株主ニ損害ヲ及スヤウナ場合ニハ、株主總
會ノ改メテ特別決議ニ依ル同意ヲ要スルモ
ノトシタ譯デアリマス、ソレガ第三項デゴ
ザイマス、ソレカラ尙其ノ末項ハ創立總會
ノ場合ニ準ジマシテ、招集ノ通知ニ記載ナ
キ事項ニ付テモ決議ヲ爲シ得ルト云フ趣旨
ヲ明カニシタノデアリマス、二十三條ハ、
先程モ問題ニナリマシタ組織變更ニ對スル
主務大臣ノ認可ノ關係ヲ現ハシテ居リマス、
ソレカラ二十九條ハ、組織變更ノアリマシ
タ場合ニ登記ヲスル規定デアリマシテ、御
承知ノ商法ノ組織變更ノ場合ニ倣ヒマシテ、
登記スベキ事項ヲ入レタ譯デゴザイマス、
第三十條ハ、株式會社ノ保險契約者ハ組織
變更ニ依ッテ其ノ相互會社ニ入社スト云
フ規定デアリマシテ、組織變更ニ依ル保險
契約者ノ新タニ生ジマシタ所ノ相互會社ニ
對スル法律關係ヲ明カニシタ規定デアリマ
シテ、是ハ當然ノ規定デアラウカト考ヘマ
ス、ソレカラ三十一條ハ公告ノ規定、ソレ

カラ株式登録實權ノ效力、資本減少ノ方
法、減資ノ無効ノ訴ト云フヤウナ規定ハ、
組織變更ノ場合ニ準用スルト云フ規定デア
リマス、其ノ三十一條デ、第一百十二條ト云
フモノガ今申上デマシタヤウニ、公告ニ關
スル規定デアリマシテ、大體ニ於キマシ
テ、其ノ他ハ資本減少ノ場合ニ準ジタ規定
デアリマス、之ヲ組織變更ノ場合ニ準用ス
ルト云フ譯デアリマス、但シ組織變更、無
効ノ登記ニ付キマシテハ、合併無効ノ登記
ニ準ジテ居ルコトニナッテ居リマス、大體是
デ組織變更ノ手續等ノ御説明ヲシタ譯デア
リマス、御質問ニ依リマシテ御答ヘ致シタ
イト思ヒマス
○男爵伊藤文吉君 第二十四條ノ保險契約
者總會ニ關スル定トアリマシガ、サッキ契約
者總會トカ云フ御話デゴザイマシタガ、
ソレハ大體ドウ云フヤウナ方法ニ依ッテ組
織セラレル譯デアリマスカ
○政府委員(牧植雄君) 保險契約者總代會
ト申シマスノハ現在ノ相互會社ノ社員總代
會ニ準ジテ同ジヤウナモノヲ考ヘテ居リマ
ス
○男爵伊藤文吉君 私存ジマセス、現在ノ
相互會社ニ於ケル總代會ト云フノハドウ云
フヤウナ組織ニナッテ居リマスカ

○政府委員(牧植雄君) 種類ハ少シアルヤ
ウデアリマスガ、地域別ニ一萬人ニ付テ一
人ノ總代ヲ出ストカ云フヤウナ方法デヤッテ
居ルヤウデアリマス
○男爵伊藤文吉君 ソレハ一萬人ノ相互社
員ノ選舉ト云フコトニナッテ居リマスガ、ソ
レハドウ云フヤウナ選出方法デアリマスカ
○政府委員(牧植雄君) 現在相互會社デ
ヤッテ居リマスノハ、委任狀ヲ集メマシテノ
其ノ多數決ニ依ルト云フヤウナ方法ヲ執ッ
テ居リマス
○男爵伊藤文吉君 モウ一ツ第二十七條ノ
第三項デゴザイマスガ、前項ノ變更ガ株主
ニ損害ヲ及ボスベキトキハ株主總會ノ同意
アルコトヲ要ス」トアリマスガ、決議ノ變
更ガ株主ニ損害ヲ及ス時ト云フノハドウ云
フ場合デゴザイマスカ、一二ノ例ヲ……
○政府委員(牧植雄君) 一應株主總會デ議
決致シマシタ株主ニ對スル對價等ニ付キマ
シテ、保險契約者大會ニ於キマシテ其ノ對
價ニ對シマシテ之ヲ減額スル等ノ損害ヲ及
スヤウナ場合ニハ特別決議ヲ以テスル株主
總會ノ同意ヲ要スルト云フヤウナ趣旨デア
リマス
○男爵伊藤文吉君 若シ株主總會ノ同意ヲ
得ラレナイ時ハ裁定ト云フモノハドウ云フ

方法デヤラレルノデスカ

○政府委員(牧橋雄君) 組織變更ガ出來ナイ結果ニナリマス

○山岡萬之助君 此ノ株式會社ガ相互會社ニ變リマスニ付キマシテハ、株式會社ニハ

保險契約者ハ株主及保險契約者ガスル譯デアリマス、ソコデ組織變更ニ付キマシテハ二十條デ、株主總會ノ決議ガ要ル、是ガ土臺ニナリマシテ、相互會社ニ移リ變ルノデアリマス、ソコデ此ノ保險契約者ト云フモ

ノハ其ノ場合ニハ少シモ關係シテ居テヌモノデアルト思ヒマス、ソレデ二十四條デ組織變更ノ決議ト云フノハ保險契約者ハ少シモソコヘ入ッテ居ラス、ダカラ全體ノ保險契約者ノ總會ニ於テ代行機關ヲ作ルト云フ

コトナラバ分ルデスケレドモ、株主總會ニ於テサウ云フ規則ヲ作ルト云フコトハ總保險契約者ノ意思ヲ代行スル所ノモノニハナラスト思フノデアリマス、其ノ本ガ決ラズ

シテ總代會ガ出來テ行ツタトスルト、餘リ適當ナモノデナイト思ヒマス、ソレハドウ御考ニナリマスカ

○政府委員(牧橋雄君) 御尤ト存ジマスガ株主總會ノ決議シタル場合ニハ、二十一條ニ依リマシテ公告ヲスルト云フコトニナッテ居リマス、此ノ公告ヲスル趣旨ハ多數ノ保

險契約者ニ對シマシテ同意ヲ求メル趣旨デアリマス、尙御説ノヤウナ不都合ナ場合ガ或ハアルカモ知レマセヌガ、サウ云フ場合等ヲ慮リマシテ、此ノ組織變更ノ效力ノ發生ヲ認可ニ掛ラシテ居ル譯デアリマス

○山岡萬之助君 保險契約者ノ數ハ會社ノ大キイ場合ニハ非常ナ數デアリマセウシ、小サクテモ可ナリ大キイ數ニナッテ居リマスカラ、從ッテ總代會ト云フモノヲ設ケル必要ガ私ハアルト思フ、ソレヲ設ケルニ付キマシ

テハ、モウ少シ契約者ノ全體ニ徹底スルヤウニスル必要ガアルト思フノデアリマス、株主總會ト云フモノハ關係ナク、寧ロ利害ノ反對ノ會デアル、保險契約者ト對立シテ

居ル所ノ株主總會デサウ云フ決議ヲ一體、出來ナイ本質ノモノデハナイカト言ヘル位デアラウト思フ、利害ガ反スルノデアリマスカラ、デスカラ保險契約者ガ今度ハ新タ

ニ相互會社ノ社員ニナル、其ノ方面ノ土臺ガ確定セズシテ別ノ機關ノ方カラ決メテソレヲ公告スル、ソレニ對シテ異議ガナケレバ宜イト云フコトデハ、ドウモ向キガ少シ

違フト思フノデアリマスガ、併シ既ニサウ云フ風ニ規定ガ進メラレテ居ル以上ハ、公告ノ手續トカ云フコトニ付テ何カ徹底スルヤウニシナケレバナラスト思フノデアリマ

ス、此ノ規定ノ出來榮エハ必ズシモ適當ノモノデハナイ、即チ利害ノ相反スル人ノ機關ヲ構成スル方法ヲ決議スルト云フノハ餘程向キ違ヒデヤナイカト思ヒマスガ、ドンナモノデアリマスカ

○政府委員(牧橋雄君) 保險契約者ト株主トハ或ハ利害ノ相反スル場合モアリマセウシ、其ノ株主ガ其處ニ利害ノ相反スルコトアルベキ保險契約者總代會ノ定ヲナスコト

ガ出來ルト云フノハ、一見矛盾ノヤウデアリマスガ、其ノ構成ニ付キマシテハ、多數ノ契約者ニ知ラシムル方法ヲ執ルト云フコトト、ソレカラ若シ之ニ對シテ異議ガアル

ト云フヤウナ場合ノ救済方法ト致シマシテ、第二十三條ニ其ノ趣旨ヲ以チマシテ、規定ヲ置イテ居ル譯デアリマス

○山岡萬之助君 ドウゾサウ云フ點ハ利害ノ相反シタ形カラ出發シテ居ルノデアリマスカラ、十分ニ保險契約者ニ徹底スルヤウ

ニ實際ニ御取扱ヲ希望致シマス、相互會社ノ點ニ付テハ、保險契約者ガサウ云フコトニ關シテ意思ノ表示ガ大體行クヤウニ出來テ居ルノデアリマスカラ、此ノ點ニ付テハドウゾ出資ニ當ッテハ能ク徹底スルヤウニ、施行規定ナリ其ノ他御考ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) ソレデハ先ヘ願ヒマセウ

○政府委員(牧橋雄君) 三十二條ト三十三條ハ一括シテ御説明申上ゲマス、現行法ニ於キマシテハ保險契約者ノ方ニ關スル規定

ガ幾分ハッキリシテ居リマセヌ點ガアルト思ヒマスガ、今回ノ改正ニ當リマシテハ、保險契約者ノ優先權ニ關スル規定ヲ設ケタ

ノデアリマス、第三十三條ハ保險契約者ノ先取特權ニ關スル規定ヲ設ケタ譯デアリマス、即チ被保險者ノ爲ニ積立ツタ金額ニ付キマシテ先取特權ヲ有スルコトニシマシタ、

其ノ先取特權ノ順位ハ民法第三百六條第一號ニ掲グル先取特權、即チ共益費用ノ次ニ位セシメタノデアリマス、第三十三條ハ矢張り同様ノ趣旨ヲ以チマシテ優先權ニ

關スル規定ヲ設ケタノデアリマシテ、主務大臣ノ命令ニ依リマシテ供託シタ財産ガアレバ、其ノ上ニ被保險者ハ他ノ債權者ニ先立ッテ辨濟ヲ受ケル權利ヲ有スト云フコトニシタ譯デアリマス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 三十三條迄ガ大體特ニ説明ヲ要スル關係デアリマシテ、是カラ先ハ大體ハ現行法通りノモノデアルト思ヒマスガ、ソレデ是カラ先ハ政府委員ノ御考ニ依ッテ、適宜ニ何箇條カゾ、纏メテ

大體ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(牧橋雄君) 第三章相互會社ニ付キマシテ御説明申上ゲマス、第一節ハ設立ニ關スル規定デゴザイマシテ、第三十四條ハ現行法ノ第二十六條ニ殆ド同ジデアリマシテ、所謂原始定款ノ規定デゴザイマス、第九號ニ會社ノ成立後ニ讓受クルコトヲ約シタル財産アルトキハ其ノ財産、價格及讓渡人ノ氏名、是ト新商法ノ第一百八條ノ六號ヲ取ツタ譯デゴザイマス、是ハ現物出資ニ關シマシテ幾分ノ弊害ヲ豫想セラル、場合ガアリマスカラ、現物出資ヲスルヤウナ場合ニハ定款ニ書クコトヲ要スルシタ譯デアリマス、第三十五條ハ現行法ノ二十七條ノ後段ニ相當致シマシテ、名稱ニ關スル規定デゴザイマス、第三十六條ハ現行法ノ二十八條ノ二項ニ該當スル規定デアリマシテ、基金ノ拂込ヲ金錢以外ノ財産ヲ以テスルコトハ得ナイト云フ規定デゴザイマス、第二項ハ拂込等ニ關スル規定デアリマシテ、是ハ矢張り現行法ト、從來解釋デ行ツテ居ツタ所ト同ジ趣旨ノコトヲ規定シタノデゴザイマス、第三十七條ハ現行法ノ二十九條ト殆ド同ジデアリマシテ、相互會社ノ社員ノ數ニ關スル制限デゴザイマス、第三十八條ハ現行法ノ三十條ト殆ド同ジデアリマシテ、

異ル點ハ第二項ノ「入社申込證ハ發起人之ヲ作リ之ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス」トアリマス、第一號ノ「定款ノ認證ノ年月日及其ノ認證ヲ爲シタル公證人ノ氏名」トアリマスガ、舊法ニ於キマシテハ定款作製ノ年月日トナツテ居リマス、新商法ニ於キマシテ、

定款ハ公證人ノ認證ヲ要スト云フコトニナツタ爲ニ、此ノ規定ヲ斯ウ云フ風ニ變ヘタ譯デアリマス、其ノ他ハ實質ニ於テ同ジデアリマス、第三十九條ハ創立總會ニ關スル規定デゴザイマシテ、現行法ノ三十一條ト殆ド同様デアリマス、第二項モ同ジデアリマス、第三項ハ色々ノ準用規定ガ掲ゲテアリマスガ、是モ從來ト同様デアリマシテ、御尋ガゴザイマスレバ詳シク申上ゲタイト思ヒマス、第四十條ハ設立登記ニ關スル規定デゴザイマス、現行法ノ第三十四條ト殆ド同一デアリマス、第一號、即チ「第三十四條第一號、第二號及第四號乃至第十號ニ掲グル事項」ト云フ第一號ガ増加サレテ居リマス、是ハ三十四條ノ方ヲ御覽下サレバ自ラ明ラカニナル譯ト思ヒマスガ、第一號ト申シマスルト、保險ノ種類及事業ノ範圍ト云フヤウナコトニナツテ居リマス、設立登記ノ規定デゴザイマスガ、詳シク申上ゲルコトモナイダラウト思ヒマス、一應是デ説明ヲ

打切ツテ置キマス

○委員長(伯耆山愛輔君) 別ニ御質問ガナケレバ是カラ又續イテ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(牧橋雄君) 第四十一條ハ新タニ設ケラレタ規定デアリマス、新商法ノ百九十七條ニ倣ツタ規定デゴザイマシテ、會社發起人ニ對スル訴ノ規定デアリマス、第二項ハ全部其ノ手續ノ規定ヲ列ベタルニ過ギマセヌ、第四十二條ハ現行法ノ三十五條ト殆ド同ジデアリマス、即チ商法ノ總則ト其ノ他一般ノ相互會社ニ準用スベキ規定ヲ纏メテ此處ニ書イタニ過ギマセヌ、第二節ハ相互會社ノ社員ノ權利義務ニ關スル規定デゴザイマス、第四十三條ハ社員ノ義務ニ關スル規定デアリマシテ、現行法ノ三十六條ト是ハ全然同ジデアリマス、第四十四條ハ現行法ノ三十七條ト大體同ジデアリマス、大體現行法ニハ相互會社中保證責任ノモノト無限責任ノ規定ガゴザイマスルガ、今回之ヲ取りマシタ關係ニ於キマシテ、改正法ニ於キマシテハ其ノ規定ガナクナツテ居ルノデゴザイマス、今四十四條ト一緒ニシテ御説明申上グベキ所ヲ四十三條ノミト申上ゲテ失禮致シマシタガ、四十四條ハサウ云フ規定デゴザイマス、ソレカラ四十五條ハ現行法ノ三十八條ト意味ガ全然同ジデ

ゴザイマス、四十六條ハ現行法ノ第三十八條ノ二ト同ジデアリマシテ、定款ヲ以テ保險金額ノ削減ニ關スル事項ヲ定ムルコトヲ要スト云フ規定デゴザイマス、第四十七條ハ現行法ノ第四十條ト全然同ジデアリマシテ、御説明スルニモ及バナイカト思ヒマス、第四十八條ハ現行法ノ四十一條ト是モ全く同ジデアリマス、ソレカラ第四十九條ハ社員名簿ニ關スル規定デゴザイマシテ、現行法ノ四十九條ト意味ヲ同ジク致シマス、ソレカラ第五十條ハ通知、催告ノ簡易方法ヲ規定シタ規定デアリマシテ、現行法ノ四十九條ノ二ト意味ヲ同ジクスルモノデアリマス、一應是デ説明ヲ打切リマス

○山岡萬之助君 四十六條ニ「會社ハ定款ヲ以テ保險金額ノ削減ニ關スル事項ヲ定ムルコトヲ要ス」トアリマスガ、斯ウ云フ異例ナコトヲ何ガ故ニサウ云フコトヲ豫メ豫想スル必要ガアルノデアリマセウカ、斯ウ云フコトガ若シ必要ナレバ適當ナ機關ニカケル、總會ニカケルト云フ必要ヲ生ジタナラバ規定スベキコトデ、豫メ保險金額ヲ削減スルト云フヤウナコトハドウ云フ必要カラ生ジテ居リマスカ、一應ソレヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(牧橋雄君) 御尤ナ點デアリマ

スガ、出來ルダケ此ノ保險金額ノ削減ト云フヤウナコトノナイヤウニシタイト思フノデアリマス、破産等ニ至ルヤウナ場合ニ於キマシテハ是等ノ規定ヲ置イテ置キマシテ、寧ロ斯ウ云フ處置ヲ執リシムルコトノ方ガ保險團體ヲ構成シテ居リマスル趣旨カラ致シマシテ適當ダラウト云フヤウニ考ヘタ趣旨デアリマス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 他ニ御質問ガナケレバ續イテ政府委員ヨリ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(牧橋雄君) 第三節會社ノ機關ニ關スル規定デゴザイマス、五十一條ハ社員總會ニ關スル規定デゴザイマシテ、現行法ノ四十二條ト全然同一デゴザイマス、字句ヲ少々變ヘタニ過ギマセヌ、第五十二條ハ議決權ニ關スル規定デゴザイマシテ、現行法ノ四十三條ト字句ノ點迄同一デゴザイマス、第五十三條ハ少數社員權ニ關スル規定デゴザイマシテ、現行法ノ四十四條ト同ジデゴザイマス、第二項モ同ジ趣旨デゴザイマス、第五十四條ハ是ハ詳シク申上ゲマスト非常ニ複雑デゴザイマスガ、實質ハ現行法ト全然同ジデゴザイマス、南法ノ株主總會ノ規定ヲ準用シタ譯デゴザイマス、第五十五條ハ取締役ノ競業會社ノ重役トナル

コトノ制限ノ規定デゴザイマシテ、現行法ノ四十八條ト同ジデゴザイマス、第五十六條ハ現行法ノ五十條ト同ジ規定デゴザイマス、第五十七條ハ現行法ノ五十一條ト同ジデアリマス、五十八條モ現行法ノ五十一條ト同ジデアリマシテ、現行法ノ五十一條ヲ分ケテ書イタニ過ギマセヌ、是ハ新商法ガ斯ウ云フ風ナ書キ方ニ致シマシタ關係ヲ考ヘマシテ、斯ウ云フ風ニ分ケテ書イタノデアリマス、第五十九條ハ現行法ノ五十二條ト全然同ジデゴザイマス、第六十條ハ現行法ノ五十三條ト意義ヲ同ジクスルノデゴザイマシテ、株式ノ取締役ニ關スル規定ヲ相互會社ニ準用スル規定デゴザイマス、第六十一條ハ監査役ニ對スル訴ノ規定デアリマシテ、現行法ノ五十四條ト全然同ジデゴザイマス、ソレカラ六十二條ハ株式ノ監査役ニ關スル規定ヲ相互會社ニ準用スル爲ノ規定デゴザイマス

○子爵會我祐邦君 五十五條ニ監査役ト爲ルコトヲ得ズト云フノガアリマシテ、前ノ保險會社ノ時ニモゴザイマシテ、是ハ主務大臣ガ適當ト認メル時ニハ取締役ハ他ノ會社ノ取締役ニナッテ行カウガ何モ差支ナイト云フ御説明ガアツタガ、此ノ場合ニハ絶對ニナルコトガ出來ナイト云フコトヲ極メタ

キリノモノデアッテ、外ニ兼ネルコトヲ得ルト云フコトガ相互會社ニハナイノデゴザイマス

○政府委員(牧橋雄君) 新商法ノ二百六十四條ニ「取締役ハ株主總會ノ認許アルニ非ザレバ自己若ハ第三者ノ爲ニ會社ノ營業ノ部類ニ屬スル取引ヲ爲シ又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル他ノ會社ノ無限責任社員若ハ取締役ト爲ルコトヲ得ズ」ト云フ規定ガゴザイマシテ、是ト合セタ譯デアリマス

○子爵會我祐邦君 サウスルト、是ハ商法ノ何デ茲ニ誤解ハナク、ハッキリシテ居ル譯デスネ

○政府委員(牧橋雄君) 今御答ヘ漏レ致シマシタガ、社員總會ノ認許ガアレバナリ得ルコトニナッテ居リマス

○子爵會我祐邦君 ソレデ分リマシタ

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 御質問ガナイヤウデアリマスカラ、續イテ次ヘ行キマス

○政府委員(牧橋雄君) 第四節ハ會計ノ計算デゴザイマシテ、第六十三條ハ法定準備金ニ關スル規定デゴザイマス、是ハ現行法ノ五十七條ト全然同ジ規定デゴザイマス、第二項ハ矢張り現行ノ五十七條ト解釋上同じ意味ヲ新タニ此處ニ書イタノデアリマス、第六十四條ハ剩餘金分配ノ制限ニ關スル規

定デゴザイマシテ、現行法ノ五十六條、五十九條ト意義ヲ同ジクスルモノデアリマス、第三項ハ新タニ入レタ規定デゴザイマスガ、是ハ新商法ノ二百九十條ノ二項ニ依ッテ新タニ書イタモノデゴザイマス、即チ前二項ノ規定ニ反シテ基金利息即チ剩餘金ノ分配ヲ爲シタル時ハ、會社ノ債權者ハ之ヲ返還セシムルコトヲ得ルト云フコトニ致シタ譯デアリマス、第六十五條ハ基金償却準備金ノ規定デゴザイマス、現行法ノ六十條ト全然同一ノ規定デゴザイマス、第六十六條ハ現行法ノ六十一條ト全然同ジ規定ニナッテ居リマス、第六十七條ハ株式ノ計算ニ關スル規定ヲ相互ニ準用シタ譯デアリマス、現行法ノ六十二條ト趣旨ヲ同ジクスル規定デゴザイマス、一應第四節ハ是デ……

○山岡萬之助君 此ノ會社ノ計算ハ、勿論會社ノ堅實デアるか否カニ直接關係スルコトデアリマス、ソコデ其ノ法定準備金ト云フモノハ大體政府トシテハドノ程度迄ヲ被保險者ノ利益ナリ、事業ノ遂行ヲ完全ニスル見地等ヨリ考ヘラレテ居ルノデアルカ、定款ヲ以テ定メルト云フコトニ委ネテ居リマスケレドモ、大體監督官廳トシテ考ヘラレル所ガアラウト思ヒマスシ、又現在ハ果シテドノ程度デアル、將來ドウ云フ風ニソ

レヲ考ヘ居ラレルカ、承ッテ置キタイ

○政府委員(牧橋雄君) 御質問ノ意味ヲ少シ……能ク拜承ガ出来ナカッタノデアリマスガ、法定準備金ノ方デゴザイマセウカ、或ハ……

○山岡萬之助君 法定準備金……

○政府委員(牧橋雄君) 大體商法ノ規定ニ準ジタヤウナ意味ノ積ミ方ヲサセタイト思ッテ居リマス

○山岡萬之助君 具體的ニナレバドウ云フコトデアリマスカ、實際今日ドウナッテ居ルカ、將來モサウ云フコトデ行ク積リデアルカ、何カ多少理想的ナ御考ガアリマスカ、具體的ニ承ッテ見タイと思ヒマス

○政府委員(牧橋雄君) 色々場合ガアルヤウデアリマスガ、大體ニ於キマシテ二十分ノ一ヲ限度トスルモノト、十分ノ一ヲ限度トスルモノトガアルヤウデゴザイマス

○山岡萬之助君 サウ云フ風ニ此ノ保險事業ト云フモノハ違フコトハ寧ロ不合理デニ十分ノ一ト十分ノ一トデハ半分ダケ違ヒマスガ、通常ノ會社デアリマスルナラバ、ソレハ會社ノ狀態デ左様ニ違ッテモ宜イシ、又會社存立ノ必要上ヨリ最低ガ二十分ノ一デアルト云フノハ、ソレ以上ノ利益ガアレバ其ノ會社ニ於テ十分ノ一ニシテモ、或ハモッ

ト餘計ニシテモソレハマア別ノコトガアリマス、保險會社ノ如ク計數ガハッキリスベキ質ヲ有スルモノガ現在サウ云フ風ニ隔ッテ居ルト云フコトハ保險事業ノモノカラ適當デナイカニ思フノデアリマス、政府トシテハモウ少シ、斯ウ云フ準備金ハドノ會社トシテモ大體似寄ッタ定則、通則ト申シマスカ、サウ云ツタモノガアリサウニ思ハレマスガ、サウハ參リマセスカ

○政府委員(牧橋雄君) 從來ハ今申上ゲタヤウナコトニナッテ居リマスガ、今御話ノヤウナ點、色々此ノ改正ニ當リマシテハ研究シタイコトガアルノデアリマスガ、是等ノ標準トスルヤウナ、會社經營ノ根本ニナルヤウナ基準の事項ト云フヤウナモノハ此ノ法律ガ御協賛ニナリマスレバ實ハ諮問機關ヲ置キマシテ、一般的經營ノ基準トナルヤウナコトニ付キマシテハ新タニ諮問ヲ致シマシテ、サウシテ決メテ行カウカト考ヘテ居リマス、ソレ等ノ際ニ諮問スベキ事項ヲ豫想シタモノノ中ノ一ツノ重要ナ事項ニナッテ居リマス

○山岡萬之助君 只今ノ御説明デ大體了解致シマシタ、元來保險會社ノ發達ト云フモノハ外ノ營利會社ト變ラナイヤウニ伸ビテ來マシタカラ、從ッテ大キイ會社ハ非常ニ多

大ノ積立金ヲ持チ、餘リ業績ノ振ハナイモノハ少イ準備金シカ持タナイ、ソシナコトカラ破綻ヲ來スコトニナルト思フノデアリマス、大體積立金ト云フモノハ一定ノ、即チ業務ヲ遂行シテ行クニ必要ナ程度ト云フモノハ斯クノ如キ計數ノ明カナル專業トシテハ私ハ分ルコトト思フノデアリマス、サウ云フ點コソ御考ニナルコトガ必要ダト思ヒマス、只今御答辯ガアリマシタノデドウゾサウ云フ風ニ願ヒタイ

○子爵會我松邦君 チョット今ノ積立金ニ關聯シテ御尋ネシタイノデスガ、小サナ保險會社ハ法律ノ示ス所ノ範圍ノ積立金ヲスル、サウシテソレハ監督官廳ノ目カラ見レバ少シデモ積立金ヲ作ッタ方ガ被保險者ノ利益、株主ノ利益デアアル、併シナガラ少シデモ強クサセヨウトスルト危險率ガ非常ニ殖エテ來ル、處ガ大キナ保險會社ニナッテ來ルト積立金ノ運用トカ何トカ云フヤウナコトデ、詰リ金ノ力デ利ヲ産ンデ來ルトカ何トカ云フコトデ益、益、強クナル、大キナ奴ハ益、大キクナル、詰リ百萬圓ト千萬圓ノ會社トハ一對十ノ關係デハナク、一對十五ノヤウナ働キニナッテ居ルト云フコトハ事實ダラウト思フ、ソレデ保險會社ノ全般論ノヤウナコトニナリマスケレドモ、保險會社ノ弱

イモノハ何時迄經ッテモ弱イト云フコトニナル、強イモノハ益、強クナル、ソレデ掛ケル方カラ申シマスト弱イ會社ニハドウモ信用ガナイカラ惡イノニハ掛ケナイデ強イノニ信賴スルモノダカラ……詰リ工場ニシテモチツボケナモノハ、片ッ方ノ大キナ會社ニ入レヌヤウナモノハ頼ンデ取ッテ貰フト云フヤウナコトニナルノデスガ、之ニ對スル私ノ見方ガ果シテ違ッテ居リマスカ、違ッテ居リマセスカ、政府當局ノ御考ヲ教ヘテ戴キタイ

○政府委員(牧橋雄君) 業績ノ擧ラナイ會社ニ於キマシテハ、新契約ヲ取ルコトガ非常ニ困難デゴザイマス、從ッテ競争ラシテモナカ……其ノ競争ニ打勝ッテ契約ヲ増加スルト云フコトハ出來難イ爲ニ、或ハ無理ニ經費ヲ使ッテ取ルトカ、ソレカラ又會我子爵ノ仰セノヤウニ非常ニ性質ノ良クナイ、危險率ノ多イ物件ヲ取ルト云フコトニナル、斯ウ云フ現狀デゴザイマス、是等ノ點ヲ改メナイコトニハ業績ノ不良ナ會社ノ業績ヲ向上セシムルト云フコトハ困難デアルカノヤウニ思ッテ居リマス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 次へ……

○政府委員(牧橋雄君) 第五節ハ定款ノ變更ニ關スル規定デゴザイマス、第六十八條

ハ「定款ノ變更ヲ爲スニハ社員總會ノ決議アルコトヲ要ス」ト云フ規定デアリマシテ、現行法ノ六十三條ト同ジデゴザイマス、第二項ハ特別決議等ノ規定ヲ準用スルト云フ趣旨デアリマス、第六節ハ社員ノ退社ニ關スル規定ヲ書イテゴザイマシテ、第六十九條ハ社員ノ退社ノ事由ニ付テ規定シタノデアリマス、現行法ノ六十六條ト殆ド同ジデアリマス、第七十條ハ現行法ノ六十七條ト全然同ジデゴザイマス、第二項ハ現行法ノ七十條ト趣旨ヲ殆ド同ジクシテ居リマス、第七十一條ハ現行法ノ六十八條トマルキリ同ジデアリマス、第一項ノ「三月内」トアルノガ現行法デハ「六ヶ月」ト云フコトニナッテ、居リマス、斯ウ云フ時效ニ關スル期間トシテ長過ギルヤウニ思ハレマスノデ三箇月ニ短縮シタ譯デアリマス、第七節ハ解散ニ關スル規定ヲ書イタモノデアリマシテ、第七十二條ハ現行法ノ四十二條ノ二ノ前段ト同ジデアリマス、第二項ハ八十八條ノ三ノ一部ヲ書イタモノデゴザイマシテ、移轉ノ場合ノ規定、報告ノ規定、登記ノ付屬書類ノ規定等ヲ準用シテ居ル譯デアリマス、第七十三條ハ現行法第七十五條ノ後段ヲ採ッタノデアリマシテ、新商法ノ様式ノ合併ニ關スル規定ヲ相互ニ準用シタ譯デアリマス、

第八節ハ清算ニ關スル規定デアリマシテ、第七十四條ハ清算ニ付テノ方法ニ關スル規定デアリマス、現行法ノ七十六條トマルキリ同ジ規定ヲ書イタニ過ギマセヌ、第七十五條ハ現行法ノ七十九條ト全然同ジ規定ヲ書イタモノデゴザイマス、第七十六條ハ殘餘財産ノ分配ニ關スル規定デアリマシテ、現行法ノ八十條ト全然同ジデゴザイマス、第七十七條ハ現行法ノ八十二條、ソレカラ商法ノ四百三十條即チ清算ノ規定ニ倣ッタノデゴザイマシテ、趣旨ト致シマシテハ現行法ノ八十二條ト同ジデゴザイマス、以上ニ付キマシテ御質問ニ應ジマシテ御説明申上ゲタイト存ジマス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 御質問ナイヤウデアリマスカラ、是カラ先キヲ願ヒマス

○政府委員(牧橋雄君) 第九節ハ補則デゴザイマシテ、第七十八條ハ會社ノ整理及ビ特別清算ニ關スル規定デゴザイマス、是ハ新タニ入ッタ規定デゴザイマシテ、一應讀ンデ見マス、(商法第二編第四章第七節及第九節第二款ノ規定ハ其ノ性質ノ許サザルモノヲ除クノ外相互會社ニ之ヲ準用ス但シ同法第三百八十一條第一項及第四百五十二條第一項中三月前ヨリ引續キ資本ノ十分ノ一以上ニ當ル株式ヲ有スル株主トアルハ之ヲ十

分ノ一以上ノ社員トス」ト云フノデアリマシテ、其ノ商法第二編第四章第七節ト云フノハ會社ノ整理ニ關スル規定デアリマス、第九節第二款ト申シマスノハ特別清算ノ規定デゴザイマス、其ノ性質ノ許サザルモノトハ、例ヘバ商法第三百九十二條等ヲ指スノデアリマス、尙會社ノ整理ニ付キマシテハ第八十七條ニ於テ之ニ對スル特別ヲ設ケテアリマス、第七十九條ハ非訟事件手續法ノ準用ニ關シテ規定ヲシタノデアリマシテ、非訟事件手續法ハ今議會ニ於キマシテ改正ノ豫定デゴザイマスノデ、從來ニ於キマシテ主要ナモノハ擧ゲテ居ッタと思ヒマスガ、今回ハ之ヲ勅令ニ致シタ譯デゴザイマス、第八十條ハ登録稅ニ關スル規定デゴザイマシテ、現行法ノ九十條ト全然同ジ趣旨デゴザイマス、第八十一條ハ營業收益稅ニ關スル規定デゴザイマシテ、現行法ノ九十一條ト字句モ同ジデゴザイマス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 質問ナイヤウデゴザイマスカラ、續イテ説明ヲ願ヒマス

○政府委員(牧橋雄君) 第四章計算ニ關スル規定ニ付テ御説明申上ゲマス、第八十二條ハ主務大臣ニ提出スベキ書類ニ關スル規定デゴザイマシテ、現行法ノ九十二條ト全然同ジデゴザイマス、第二項ハ現行法ノ九十四

條ト同ジデゴザイマス、第八十三條ハ書類ノ閲覧謄本、抄本ノ交付ニ關スル規定デゴザイマシテ、現行法ノ九十三條ト同ジ意味ノ規定デゴザイマス、第八十四條ハ先般此ノ法律ノ改正要旨ニ付キマシテ御説明申上ゲマシタ所謂「アモーチゼーション」法ノ採用ニ關スル規定デゴザイマス、第八十五條ハ設立費用等ノ償却ニ關スル規定デアリマシテ、現行法ノ五十八條、現行法第十九條前段ト趣旨ヲ同ジクスル規定デゴザイマス、第二項ハ商法ニ新タニ出タ規定デゴザイマシテ、商法ニ於キマシテ設立費用ハ五年内ニ償却シ得ルト云フコトニナッテ居ル、之ニ代ルベキ規定ガアルガ爲ニ適用シナイト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ第八十六條ト第八十七條ハ評價益及ビ賣却益ノ積立ニ關スル規定デアリマシテ、評價益トカ、賣却益トカ云フヤウナモノノ性質上之ヲ配當ニ充テルトカ云フヤウナコトハ適當デナイト思ハレマスノデ、之ヲ原則トシテハ積立セシメルト云フコトニシマシテ、特別ノ必要アル場合ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケマシテ、其ノ全部又ハ一部ヲ積立テナイコトヲ許ス、又積立テタモノハ之ヲ崩ス場合ハ一定ノ場合以外ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケナケレバ崩スコトガ出來ナイト云フコトニシマ

シテ、所謂保險會社ノ財政ノ健全化ヲ圖ルト云フ趣旨ヲ規定シタ譯デゴザイマス、第八十八條ハ責任準備金ニ關スル規定デゴザイマシテ、現行法ノ九十五條ト同ジ趣旨デアリマス、第二項ハ商法ニ新タニ出來マシタ規定デゴザイマシテ、其ノ證據帳簿ニ關スル規定デアリマスガ、之ヲ前項ノ場合ニ準用スルコトニ致シタ譯デアリマス、第八十九條ト第九十條ハ保險計理人ニ關スル規定デゴザイマシテ、是ハ改正要旨ニ付キマシテ詳シク御説明申上ゲマシタガ、其ノ趣旨トスル所ハ保險會社ハ保險計理ト云フモノガ最も大切ナモノデアリマシテ、此ノ數字ニ誤リガゴザイマスルト多數ノ契約者ニ迷惑ヲ掛ケルト云フコトニナル、從ッテ計理ヲ擔當スル者ハ最も重責ニ任ズルノデゴザイマスカラ、是等ノ者ハ必ズ生命保險會社ニ於テ選任ヲ致シマシテ、ソレ等ノ保險數理ニ關スル事項ヲ擔當セシムルト云フコトニシタ譯デアリマス、擔當セシメマシテ最も重要ト思ハレル數理ニ關スル事項ニ付キマシテハ其ノ計算表ガ正當デアルト云フコトヲ確認セシメルト云フヤウナ職務ヲ負ハシムルト云フコトニシタ譯デゴザイマス、専ラ保險契約者ノ保護ノ見地カラ規定シテ居ル譯デアリマス、第九、十一條ハ監査書

ニ關スル規定デアリマシテ、銀行法ニ於キマシテハ銀行ノ營業年度ガ半年ヲ以テ一營業年度ト致シマスカラ、一營業年度ニ付テ二回監査書ヲ作ルコトヲ規定シテ居リマス、從ッテ銀行ニ於キマシテハ一年ニ四回ノ監査書ヲ作ルコトノ必要ガアリマスガ、保險會社ハ一營業年度ガ一箇年ト云フコトニナッテ居リマスカラ、毎營業年度二回監査書ヲ作リマシテ、之ヲ備ヘ置クコトヲ要スルト云フコトニシタ譯デゴザイマス、大體以上ニ付キマシテ御説明申上ゲマシタ

カ知レマセヌガ……
○子爵會我祐邦君 評價益ノアリマシタ時分ニハ會社ノ財産ノ基礎ヲ尙強クスル、即チ安全計數ヲ強カラシムル爲ニ評價益ヲ計上シナイデ置イテモ宜シイ、百圓デ買ツタモノガ百二十圓ニナッテ居ルガ、決算期ニ於テハ百圓ニ計上シテモ宜イ、見ル人ガ見レバ此處ニ大キナ利益ガ隠サレテ居ルト云フコトヲ普通ニ使ヒマス言葉デスガ、然ルニソレガ下ツタ場合ニハ、百圓デ買ツタ會社ノ株ガ八十圓ニ下ッテ居タ場合ニハ、是ハ出サナケレバイケナイデセウ、普通ノ何デゴザイマス……、ト思ヒマスガ、ソレハ明カニ損失ト出サナケレバイケヌモノダラウト思

ヒマス、普通ノ貸借對照表……、其ノ場合ニハ評價損ト云フモノハ他ノ方法ニ依ッテ之ヲ埋メテ行カナケレバナラスカト思ヒマスガ、此ノ保險業法デハ如何デアリマスカ
○政府委員(牧橋雄君) 評價損ノ出マシタ場合ハ之ニ計上シナクテハナラスト思ヒマス、其ノ損失ヲ填補スル爲ニ、若シ評價益ガアレバ評價益デ以テ填補スルコトハ最も適當デアラウト思ヒマスガ、ソレガ出來ナイ場合ニハ他ノ方法ヲ以テ填補シナクテハナラナイト思ヒマス

○山岡萬之助君 均等利廻ニ關シマシテハ先ニ御尋フシテ御答ヲ得マシテ、ソレニ牽連シタ問題デ御答ヲ得タノデアリマスガ、保險事業殊ニ生命保險ノ經營ニ付テハ、四分ノ利廻デハ實際營業ガ圓滑ニ遂行出來ナイ、ソコデ今日ハ五分三厘ニナッテ居ルト云フ御答ガアリマシタ、實際論トシテ今日ノ金利ト云フモノガ先ヅ公債ガ三分五厘、サウ云フ風ニ、要スルニ過去カラ比ベマスト低金利時代ニナッテ居リマスノデ、保險會社ノ如キ長期ノ資金ヲ運轉スベキモノニ付キマシテハ、サウ云フ利廻ノ基礎ヲナス所ノ有價證券ニ依ラネバナラス、社債ニ付テモ今日ハ四分二厘デアリマスカ、其ノ程度デ、

ニ關スル規定デアリマシテ、銀行法ニ於キマシテハ銀行ノ營業年度ガ半年ヲ以テ一營業年度ト致シマスカラ、一營業年度ニ付テ二回監査書ヲ作ルコトヲ規定シテ居リマス、從ッテ銀行ニ於キマシテハ一年ニ四回ノ監査書ヲ作ルコトノ必要ガアリマスガ、保險會社ハ一營業年度ガ一箇年ト云フコトニナッテ居リマスカラ、毎營業年度二回監査書ヲ作リマシテ、之ヲ備ヘ置クコトヲ要スルト云フコトニシタ譯デゴザイマス、大體以上ニ付キマシテ御説明申上ゲマシタ

○子爵會我祐邦君 評價益ノアリマシタ時分ニハ會社ノ財産ノ基礎ヲ尙強クスル、即チ安全計數ヲ強カラシムル爲ニ評價益ヲ計上シナイデ置イテモ宜シイ、百圓デ買ツタモノガ百二十圓ニナッテ居ルガ、決算期ニ於テハ百圓ニ計上シテモ宜イ、見ル人ガ見レバ此處ニ大キナ利益ガ隠サレテ居ルト云フコトヲ普通ニ使ヒマス言葉デスガ、然ルニソレガ下ツタ場合ニハ、百圓デ買ツタ會社ノ株ガ八十圓ニ下ッテ居タ場合ニハ、是ハ出サナケレバイケナイデセウ、普通ノ何デゴザイマス……、ト思ヒマスガ、ソレハ明カニ損失ト出サナケレバイケヌモノダラウト思

ヒマス、普通ノ貸借對照表……、其ノ場合ニハ評價損ト云フモノハ他ノ方法ニ依ッテ之ヲ埋メテ行カナケレバナラスカト思ヒマスガ、此ノ保險業法デハ如何デアリマスカ
○政府委員(牧橋雄君) 評價損ノ出マシタ場合ハ之ニ計上シナクテハナラスト思ヒマス、其ノ損失ヲ填補スル爲ニ、若シ評價益ガアレバ評價益デ以テ填補スルコトハ最も適當デアラウト思ヒマスガ、ソレガ出來ナイ場合ニハ他ノ方法ヲ以テ填補シナクテハナラナイト思ヒマス

○山岡萬之助君 均等利廻ニ關シマシテハ先ニ御尋フシテ御答ヲ得マシテ、ソレニ牽連シタ問題デ御答ヲ得タノデアリマスガ、保險事業殊ニ生命保險ノ經營ニ付テハ、四分ノ利廻デハ實際營業ガ圓滑ニ遂行出來ナイ、ソコデ今日ハ五分三厘ニナッテ居ルト云フ御答ガアリマシタ、實際論トシテ今日ノ金利ト云フモノガ先ヅ公債ガ三分五厘、サウ云フ風ニ、要スルニ過去カラ比ベマスト低金利時代ニナッテ居リマスノデ、保險會社ノ如キ長期ノ資金ヲ運轉スベキモノニ付キマシテハ、サウ云フ利廻ノ基礎ヲナス所ノ有價證券ニ依ラネバナラス、社債ニ付テモ今日ハ四分二厘デアリマスカ、其ノ程度デ、

保險會社ノ資金ヲ運用スルニ當テ五分三厘ニナラナケレバ圓滑ニ事業ヲ遂行出來ナ
イト云フノハ、實際經濟事情ニ對シテドウ
カト思ヒマス、保險會社ノ經營ヲ遂行シテ
行クニハ、矢張りモウ少シ低イ所デモ行
ケルト云フ計畫ガナケレバナラヌヤウニ思
フ、實際ニ於テハ六分ノ收入ガアリマシテ
モ、多々益、辨ズルノデアリマス、ドウモ五
分三厘迄行カナケレバイケナイト云フコト
ハ、果シテサウデアリマセウカ、今一應伺
ヒタイ

○政府委員(牧橋雄吉) 御尤ナ御尋デアリ
マシテ、最近金利ガ非常ニ安クナッテ參リ
マシテ、此ノ有價證券モ今迄通りノ利息ニ
廻スト云フコトハ非常ニ困難ニナッテ居リ
マス、最近ニ於キマシテハ年々利息ガ低下
シマシテ、此ノ十年間位ニ一步餘下ッテ居リ
マス、今後モ上ルト云フヤウナコトハ豫想
ハ出來ナイト思フノデアリマスガ、サウ云
フ關係カラ御尋ノ點ハ御尤ナンデゴザイマ
シテ、其ノ豫定利率、謂ハバ資金ノ「コスト」
ガ今迄ハ四歩ガ多カッタノデアリマスガ、最
近認可スルヤウナモノニ付キマシテハ、三
歩五厘ガ多イノデアリマス、大體ニ於キマ
シテサウ云フ方針ヲ續ケテ行カウト考ヘテ
居リマス、殊ニ御示ノヤウニ今後時局ノ進

展等ニ依リマシテ、國債ノ消化ニ協力スル
ト云フヤウナ問題、或ハ此ノ時局ノ關係ニ
於ケル保險金ノ支拂ノ増加等ヲ考慮致シ
マス、ト、相當經營上根本問題ニ立至ッテ
考ヘナケレバナラヌ點ガアラウト考ヘマス
ガ、併シハ非常ニ重要ナ問題デゴザイマ
スカラシテ、今ドウシタイト云フ方針ヲ申
上ゲルコトハ非常ニ影響ヲ持ツノデ、之デ
御許シヲ願ヒタイト思ヒマス

○山岡萬之助 只今ノ御答辯デ満足致シ
マス、續イテ一ツ御尋ヲ致シタイコトハ、

八十九條ニ依ッテ保險計理人ヲ新設セラレ
マシタ、此ノ規定ハ私ノ考カラ致シマスレ
バ、保險會社トシテハ至極適當ナ規定デ、
結局保險ト云フモノガ長年月ノ關係デ數字
ガハッキリシテ居ラナイコトガ、事業ノ遂行
ガ蹉跎スル所以デアルト思ヒマス、故ニ保
險計理人ト云フモノハ、如何ナル生命保險
會社ニモ必ズアルト云フコトニナルヤウニ
見テ居リマス、併シ「命令ノ定ムル所ニ依リ」
トアルカラ、其ノ書キ方ニ依ッテハドウ云フ
風ニモナル譯デアリマス、ソレ故ニ承ッテ置
キタイ、生命保險會社ハ必ズ保險計理人ヲ
置クコトヲ要スルヤ、命令ニ於テ置カナイ
デモ宜イト云フヤウナコトヲ考ヘラレテハ
居ラスヤウニ思ヒマスガ、先ヅ第一サウデ

アルカ、而シテ第二ニハ、保險計理人ト云
フ者ハドウ云フ性質ヲ持ツモノデアルカ、
會社ノ職員デアラウト思ヒマスガ會社ノ職
員デアルトスルナラバ、ドウモ信用ノ程度
ニ於テ何物カ足ラスモノガ私ハアルト思ヒ
マス、モウ少シ、公證人ト云フ迄ハ行キ兼
ネルカモ知レマセヌガ、公ノ質ヲ或ル程度
迄持タセルコトガ宜クハナイカト思フノデ
アリマス、ソレ等ニ關シマシテハ、命令ノ
定ムル所デドウ云フコトヲ考ヘラレテ居リ
マスカ伺ヒタイ

○政府委員(牧橋雄吉) 八十九條ノ命令ノ
定ムル所ニ依ルト云フノハ、此ノ八十九條
ハ保險計理人ヲ置クコトヲ要スト規定シテ
居リマスガ、命令ノ定ムル所ニ依ッテ置カ
ザルコトヲ得ル場合ヲ規定スル趣旨デハゴ
ザイマセヌデ、此ノ命令ハ保險計理人タル
ベキ者ノ資格ニ關シテ、何等カノ規定ヲ設
ケタイト云フ趣旨デアリマス、其ノ命令ノ
内容ヲ申上ゲマス、其ノ資格ニ付キマシ
テ非常ニ優秀ナ保險計理人ヲ置キタイノデ
アリマスガ、併シ一方現在ニ於ケル保險計
理人ノ狀態等ヲ考慮シマス、餘リニ理
想ニ走ルコトモ實情ニ即シナイ嫌ガゴザイ
マス、抽象的デハゴザイマスガ、一定ノ學
歴ヲ有スル者トカ、或ハ相當ノ實務經歷ヲ

有スル者トカ、又ハ以上申上ゲマシタヤウ
ナ者ト同等ノ實力ヲ有スルモノト主務大臣
ガ認定シタ者ト云フヤウナモノヲ、保險計
理人ノ適格者トシタイト考ヘテ居リマス、
勿論理想的ニ申シマスレバ、其ノ程度ヲ高
クスルコトガ必要デアラウカト考ヘマスガ、
實情ガ今申上ゲマシタ通りニ考慮シナケレ
バナラナイ關係ニゴザイマスカラ、理想ヲ
現スト共ニ實情ニ即シタヤウナコトニシタ
イト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソ
レカラモウ一ツノ御尋ハ、保險計理人ハ、是
ダケノ重責ヲ負ハス、保險計理人ノ身分ハ
ドウ云フモノデアルカト云フ御尤ナ御尋デ
ゴザイマシテ、是ハ此ノ法律ハ役員トカ何
トカ云フモノデハナク、會社ノ使用人デゴ
ザイマス、從ッテ使用人タル者ニ是等ノ重責
ヲ負ハシムルコトハ、制度ノ上カラドウカ
ト云フ御趣旨デアリマスガ、之ニ公ノ性質
等ヲ加ヘタラドウカト云フコトデゴザイマ
スガ、色々研究ヲ致シマシテ、現在デハ此ノ
程度デ宜クハナイカト云フコトニナツタノ
デゴザイマス、ト申シマスノハ、是ダケノ
重責ヲ負ハシメルニハ、モウ少シ地位ヲ良
クスルトカ、或ハ身分ニ關スル保證ノ規定
ヲ置イタラドウカト云フコトモ考ヘタノデ
アリマスルガ、色々機微ナ關係モアリマシテ、

實情カラ見テ此ノ程度ナラ宜シカラウ、例ヘバ身分ニ關シマシテ餘リ保證等ノ制度ヲ設ケテ強ク致シマスルト、却テ會社内部ニ於ケル折合等モ宜クナイノデハナイカ、又御承知デイレツシヤイマス通り餘リ強ク身分等ノ保證ヲ致シマシテモ、ソレニ反スル結果ヲ生ゼシメヨウトスレバ、如何ニシテモ出來ルト云フヤウナ實情モ考ヘラレマスノデ、色々研究ノ結果斯ウ云フヤウナ規定ニシタ譯デゴザイマス

○山岡萬之助君 今日急ニ立派ナ保險計理人ヲ得ルト云フコトハ、御説ノ通り相當困難モアリマセウト思ヒマスガ、斯ウ云フ制度ヲ立テマシテ、而モ九十條ニ於テハ「計算ノ正當ナルコトヲ確認スルコトヲ要ス」、斯ウ云フコト迄書イテ居ッテ、保險會社ノ唯一使用人ト云フコトデハ、何トシテモ調子ガ合ハナイノデアリマス、試験ヲ經テ適當ナ資格ヲ與ヘ、保險計理人タルノ資格ヲ公認シテ、假令公務員ト云フ迄セナクトモ宜イト思ヒマスガ、試験ヲシテ資格ヲ公認シテ、サウシテソレヲ寧ロ官ノ方カラ勸メテ此ノ計理人ヲ置ク、立派ナ會社ニ立派ナ計理人ヲ置ク、サウ云フ風ニシテ兩々相俟ッテ行クト云フ程度迄ハ少クトモ進ミマセスト云フト、身分ヲ保證シテ、會社内部デ相爭

フト云フガ如キコトハ宜クナイコトハ御尤デアリマス、其處迄行キマセヌデモ、今申上ゲマシタヤウニ計理人タル免許ヲシテ、ソレガ入ッテ行クト云フ位ニ少クトモ進ミナケレバナラスト思ヒマスガ、命令ノ定ムル所ト書イテアリマスカラ、此ノ點ハドウゾ十分ニ御研究アッテ、サウ云フ説モアッタト云フコトデ、此ノ方面ニモ御努力ヲ願ヒタイノデアリマス

○子爵會我祐邦君 今ノニ關聯シテ御伺ワシタイノデスガ、計理人ノ特定ノ學校カ何カゴザイマスカ一種ノ……、或ハ何處々々ノ何々計理人學校ト云フヤウナ風ノ特定ノ學校デモアッテ、其ノ學校ノ免狀ヲ持ッテ居ル者ハ無條件ニ其ノ資格ヲ受ケル、或ハソレニ相當スル學力ト云フコトヲ仰シヤイマシタガ、ソレガナカノ……ムツカシイコトデアラウト思ッテ居ルケレドモ、是ハ山岡君ノ御議論ト同ジコトニナルノデアリマスガ、モウ一ツハ、會社ニ於テ此ノ人達ガドウ云フ事ヲスルカト言ヒマスレバ、即チ數學ヲ基礎トシテ、即チ公算學ノ方式ヲ基礎トスル所ノ、危險率ヲ分布スル所ノサウ云フ數字ヲ當嵌メテ、斯ウ云フ會社ハ斯ウ云フ年輩ノ者ヲ多ク取り過ギテ居ルカラ、是ハ取ッテハイカヌ、コッチノ方ヲ取ラナケレバナラ

スト云フコトガ結論トシテ、實際問題トシテ出ルダラウト思フ、外ニ立テヤウガナイ、保險會社ノ安全率ノ一番確カナモノヲ公算學ノ方程式ニ基イテ結論トシテ得タモノヲ、數學的ニ合シテ行クトシカナカラウト思フノデスガ、何カ特殊ナ學校デモアッテ、高等數學ノソコ迄ヤルヤウナ學校ガ出來テ居ルノデスカ、實際ノコトハ全ク分リマセヌガ、序ニ御説明ヲ願ヒタウゴザイマス

○政府委員(牧植雄君) 理想カラ申シマスルト、仰セノ通りニソレ等ノ專門ノ學校ヲ設ケタイノデアリマスガ、實際ハ現在デハゴザイマセヌ、從ッテ先程モ申上ゲマシタ通りニ實情カラ見マスルト、餘リ高イ所ニ標準ヲ置キマス、保險會社ハ、數十社ゴザイマスカラ、矢張り保險計理人ノ供給ガ出來ナイト云フコトニナルノデアリマス、今ノ所デハドウ程度ニ迄スルカラ研究シテ居リマスガ、少クトモ數學ヲ專攻シタ者デナクテハイケナイ、尙數學ヲ專攻シタダケデハ、是ハ實務ト關聯シテ考ヘナクテハナラナイ問題デゴザイマスカラ、或程度ノ實務經歷、或ハ一定年數ニ依ッテ之ヲ制限スルカドウカ、ソコイラモ研究シマスガ、サウ云フ實務經歷ト云フヤウナモノカラ此ノ保

險計理人ノ適格者ト云フモノヲ考ヘルヨリ、現狀カラハ致シ方ガナイト考ヘテ居リマス

○子爵會我祐邦君 サウ致シマス實際ノ話現在ノ狀態デハ、會社ノ中デ會社ノ實務ニ通ジテ、數學ニ興味ヲ持ッテ居ルト申シマセウカ、知識ノ多イ者ニシテ、サウシテ其ノ者ガ自然ト其ノ專門ニナッテ、會社員ニシテサウシテ所謂計理人ト云フ資格ヲ會社ガ與ヘル譯デハアリマセヌガ、會社ガ自然トサウ云フ者ヲ養成シテ行クト見ルヨリ、外仕方ガナイト思ヒマスガ、如何デゴザイマス

○政府委員(牧植雄君) 非常ニ高等ナ數學ヲ專攻シ、或ハ實務經歷ハナクトモ、相當ノ保險ニ關スル見識ヲ有スル者デアルト云フコトヲ認定スルニ足ルヤウナ資料ガゴザイマスレバ、實際ノ經歷ガナクトモ宜シカラウカト考ヘマス、併シ多クハ數學ヲ專攻シタ人ガ實際保險會社ニ入リマシテ、或年限修練ヲ重ネマシテ、サウシテ色々ナ材料ニ依ッテ相當ノ實務經歷ヲ有スル者ト認メラレルニ至リマシタ時ニハ、適格ヲ有スル者ト考ヘテ居リマス

○男爵矢吹省三君 九十一條ニ付テ伺ヒタイノデスガ、監査書ノ内容ハドウ云フコトヲ書イテ置カナケレバナラヌノデゴザイマ

スカ

○政府委員(牧橋雄君) 大體銀行法ノ例ニ倣ヒマシテ、省令デ書カウカト思フテ居リマス、其ノ省令ニ書ク内容等ニ付キマシテハ尙審議ヲ要スルノデアリマスガ、大體大口ノ貸付等ニ付キマシテ調書ヲ作ルト云フヤウナコトヲ考ヘテ居リマス

○男爵矢吹省三君 サウスルト財産ノ狀況、有價證券ガ何ンボ、貸金ガ何ンボ等ノ資産方面ノ狀況ダケヲ監査スレバ宜シイノデゴザイマスカ、債務ニ屬スル方ノ計算ハ監査書ノ中ニハ書カヌデモ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(牧橋雄君) 今仰セノヤウナ法律上當然作ッテ置カナクチャナラヌト云フヤウナコトハ、此ノ監査書デ豫定シテ居ル譯デハアリマセヌ、不良ナル大口ノ貸付等ニ付キマシテ調書ヲ作ラセタイト云フノガ主眼デアリマス

○男爵矢吹省三君 サウスルト不良資産ヲ調べテ置クト云フコトガ、マア大體ノ御趣意ト云フ風ニ心得テ宜シイノデアリマスナ

○政府委員(牧橋雄君) 不良資産ト申シマスカ、其ノ運用方面ニ於ケル貸付等ニ付キマシテ、是ハドウカト思ハレルヤウナ不良ナモノガアレバ、ソレ等ニ付キマシテ調書ヲ作ッテ置クト云フコトニ考ヘテ居リマス

○男爵矢吹省三君 ソレカラサウ云フ監督書ヲ「毎事業年度ニ同作成シ之ヲ本店又ハ主タル事務所ニ備置クコトヲ要ス」、斯ウ云フ風ニ備ヘテ置ケバ宜シイト云フコトデアツテ、前ノ八十二條ノ場合ニ於テハ、是ハ決算書ヲ主務大臣ニ提出スルコトヲ要スト云フ規定ガアルノデゴザイマスガ、此ノ監査書ハ主務大臣ニ提出ヲシナイデモ、事務所ニ備ヘテ置ケバ宜シイ、斯ウ云フコトデスカ

○政府委員(牧橋雄君) 八十二條ノ主務大臣ニ提出スベキ書類ノ中ニハ這入ッテ居リマセヌ、備付ケテ置ケバ宜シイト云フコトデアリマス

○男爵矢吹省三君 ソレカラ八十三條ニハ、契約者、被保險者、受取人等ニ其ノ決算書ノ閱覽ヲ求メラレタ場合ニハ之ニ應ジ、又ハ謄本或ハ抄本ヲ交付シナケレバナラヌト云フヤウナコトニナツテ居リマシテ、謂ハバ此ノ決算書ハソレ等ノ人ニ對シテ公開ヲスルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、九十一條ノ場合ニハサウ云フ規定モアリマセヌノデ、其ノ監査書ソレ等ノ人ガ見タイト言ッタ場合ニ、ソレヲ見セル義務、或ハ謄本、抄本ヲ與ヘナケレバナラヌト云フ義務ハナイ譯デゴザイマスナ

○政府委員(牧橋雄君) ソレハナイ譯デアリマス

○子爵會我祐邦君 チョット私モ矢吹君ノ質問ニ關聯シテ承リタイノデゴザイマスルガ、此ノ第九十一條「監査役ハ會社ノ業務及財産ノ狀況ニ關スル」云々トゴザイマスルガ、只今迄普通ノ監査役ノ職責ハ何デアリマスカト云ヒマス、詰リ總會ヨリ一週間前ニ提出スル所ノ取締役ノ書類ニ基イテ會社ノ内容ヲ調べテ、ソレニ捺印スルコトデアツテ、其ノ責任ヲ明カニスルコトデアリマス、然ルニ只今ノ御説明ニ依リマスルト、不良ト言ヒマスカ、貸付ト申シマスカ、何カ知リマセヌガ、サウ云フモノヲ年ニ二回作成スル、保險會社ハ、私ハ心得違ヒカ知レマセヌガ、總會ハ年ニ一度ダト思フノデゴザイマスガ、年ニ一回ノ所謂監査役ガ取締役ノ責任ヲ以テ提出シタ書類ニ基イテ會社ノ内容ヲ調べテ、ソレニ捺印スルノデアリマス、同意ヲ表スルモノデアリマスルガ、只今ノ御説明ニ依リマスルト年ニ二回監査役ガ作ルト云フモノハ、其ノ普通ノ監査役ノ株式會社デヤツテ居リマス所ノ責任ノ外ニ、違ッタ意味ニ於テ調べタ監査書ヲ年ニ二回作ルノデゴザイマスカ、保險會社デ申シマスレバ、年々行ハ

レル所ノ總會ニ提出スル所ノ財産目錄其ノ他ト同ジヤウナモノ、之ヲ言ヒ換ヘマスレバ、保險會社ノ最モ面倒ト致シマスル所ノ責任準備金算出ニ基ク所ノ非常ニ細カイ計算及ビ積立金ノ方法、是ハ隨分面倒ナモノデアリマス、ソレヲ總會デナイ、其ノ年度半バニ於テソレト同ジ方法ニ依ッテスルノデゴザイマセウカ、言ヒ換ヘレバ他ノ會社トノ關係ヲ根本カラ計算ノ上カラヤリ直シテ行クト云フコトヲ唯備付ケル爲ニ、年ニ二度監査役ハシナケレバナラヌノデアリマセウカ、其ノ二度ノ監査書ト云フモノハ總會ニ提出スルモノト違ッタ意味ノモノデアリマセウカ、ソコノ所ヲハッキリ承リタイ

○政府委員(牧橋雄君) 保險會社ノ資産ハ御承知ノ通りニ非常ニ龐大ナモノデアリマシテ、此ノ運用ヲ誤ルカ誤ラナイカニ依リマシテ、非常ニ大キナ影響ガアルモノデアリマス、從ッテ主トシテ其ノ運用方面、即チ投資ノ狀況等ガ極端ニ申シマス日々變ッテ行ク譯デアリマスカラ、年ニ二回ノ程度ソレ等ノ狀況ヲ調査致シマシテ、サウシテ記錄スベキ事項ガアレバ記錄ヲシテ置カシメヨウト云フ趣旨デアリマシテ、今子爵ノ仰セノヤウナ年ニ一回ノ監査役ノ作ルベキ書類トハ、相當趣ガ變ルモノダト思ッテ居リ

マス

○子爵會我祐邦君 サウ致シマスルト、總會ニ出スヤウナ意味ノ監査書デナクシテ、取締役ガ監査役ニ提出スルノデナクシテ、監査役ガ監査役ノ立場カシテ會社ノ内容ヲ調べテ、資本運轉其ノ他貸付等ニ於テドシナ風ニナッテ居ルカト云フヤウナコトノ、所謂監査役獨自ノ立場ニ於ケル會社ノ内容ニ觸レタ調査宜イノデゴザイマスカ、所謂株主總會ニ出スヤウナ書類ニスルノデゴザイマスカ、ドツデゴザイマスカ

○政府委員(牧樞雄君) 今仰セノヤウナ株主總會ニ出スヤウナ意味ノモノデゴザイマセズデ、例ヘバ大口ノ貸付デアリマスとか大口ノ株式ノ賣買ト云フヤウナモノニ付キマシテ、監査役ノ立場上考慮スベキ事項ヲ調べテ、其ノ調査ヲ作ッテ置クト云フ趣旨デゴザイマス

○子爵會我祐邦君 能ク分リマシタ

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 外ニ御質問ゴザイマセスケレバ、是デ又續ケテ戴キマス

○政府委員(牧樞雄君) 第五章會社ノ管理ニ付テ御説明申上ゲマス、第九十二條ハ委任管理ノ場合デアリマシテ、大體先般來改正案ノ要旨ニ付キマシテ御説明ヲ申上ゲタ所デゴザイマスカラ、御質問ニ應ジマシテ

御答ヲシタイト思ヒマス、第九十三條ハ其ノ契約ヲ以テ委任管理ヲスルコトニナッタ場合ニ、主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ、其ノ效力ヲ生ジナイトシタノデゴザイマス、第九十四條ハ、此ノ委任管理ノ一般ニ及ス影響ハ相當重大デゴザイマスカラ、斯ウ云フ第九十三條ノ認可ヲ受ケタ時ニ於キマシテ公告スルトカ、登記ヲスルトカノ手續ニ關シマシテ、九十四條ノ規定ヲシタモノデゴザイマス、第九十五條ハ、管理ニ於キマシテノ内部關係ヲ現シタモノデアリマス、即チ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外ハ委託會社ト受託會社トノ間ノ關係ハ委任ニ關スル規定ニ從フト云フ、謂ハバ當然ノ規定デゴザイマス、第九十六條ハ、委任管理ニ於ケル外部關係ヲ現シタ規定デゴザイマシテ、受託會社ガ委託會社ノ爲ニ保險契約其ノ他ノ取引ヲ爲スニハ、委託會社ノ爲ニスルコトヲ表示セネバナリマセヌ、二項ニ於キマシテ今申上ゲマシタ表示ヲ爲サズシテ爲シタル保險契約其ノ他ノ取引ハ、之ヲ自己ノ爲ニ爲シタルモノト看做スト云フコトニシタ譯デアリマス、商法第三十八條第一項ト申シマスルハ、支配人ノ代理權ニ關スル規定デアリマス、第三項ハ權限ニ對スル制限ノ規定デアリマシテ、是等ノ規定

ハ受託會社ニ之ヲ準用スルコトトシタノデアリマス、民法第四十四條第一項ノ規定ハ、管理ノ委託アリタル場合ニ之ヲ準用スル、是ハ第三者保護ノ規定デアリマス、第九十七條ハ管理契約ノ解除ト終了ニ關スル規定デアリマス、管理契約ノ解除ハ株主總會又ハ社員總會ノ決議ヲ經ルコトヲ要スト云フ、是ガ重要ナ點デアリマス、第九十八條ハ、管理契約ノ解除又ハ終了アリタルトキハ各會社ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ公告スベシト云フコトヲ規定シタモノデアリマス、第九十九條ハ先般申上ゲマシタ趣旨デゴザイマシテ、一定ノ傾向ヲ辿ル會社ガ或時期ニ於テ豫知セラレル保險會社ノ經營上ニ於キマシテ、前途ノ見透シガ非常ニ惡イト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、出來ルダケ早目ニ或程度ノ手段ヲ講ズルコトガ、保險契約者保護ノ見地カラ必要デアラウカト考ヘラレマスノデ、是等ノ規定ヲ置イタノデアリマス、併シナガラ此ノ規定ニ付キマシテハ此ノ運用ヲ最モ注意致シマセヌト、信用ヲ基礎トスル保險會社ニ取リマシテ重大ナル結果ヲ生ズルモノト考ヘマスカラ、運用ニハ最モ注意ヲシテ、サウシテ之ヲ適用スル場合ニハ、最モ契約者保護ノ見地カラ或手段ヲ執ルコトヲ必要トスル場合ニ限ラナ

ケレバナラスト考ヘテ居リマス、第百條ハ先般ノ御説明申上ゲマシタ所謂強制命令ニ關スル規定デゴザイマス、是ハ御尋ガゴザイマスカタ思ヒマスルガ、其ノ際ニ申上ゲタイト思ヒマス、第百一條ハ今申上ゲマシタ百條ノ規定ニ依リマシテ、強制的ニ管理ヲ命ゼラレタル場合ノ手續ニ關スル規定デアリマス、即チ其ノ強制管理ハ、主務大臣ノ選任シタル保險管理人ガ之ヲ爲スト云フコトニシテ居リマス、又保險會社ガ其ノ保險管理人タルコトヲ命ゼラレタ場合ニハ、正當ノ事由ナクテ之ヲ拒ムコトガ出來ナイト云フコトニシテ居リマス、第三項ニ於キマシテハ、「保險管理人ハ管理ヲ受クル會社ニ代リ保險契約其ノ他ノ取引並財產ノ管理及處分ヲ爲ス權限ヲ有ス」ト致シマシテ、保險管理人ガ有スベキ權限ヲ規定シテ居ルノデゴザイマス、第四項ニ於キマシテハ、主務大臣ハ保險管理人又ハ管理ヲ受クル會社ニ對シ、管理ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトガ出來ルヤウニ致シマシタ、第五項ニ於キマシテハ、主務大臣必要アリト認ムルトキハ保險管理人ヲ解任スルコトガ出來ルヤウニシタノデゴザイマス、第六項ニ於キマシテハ、支配人ノ代表權ト破產管財人ノ規定等ハ保險管理人ニ準用スルト云フコト

ニ致シタ譯デアリマス、第百二條ニ於キマシテハ、此ノ強制管理ノ場合ニ於ケル通告ト登記ニ關シテノ手續ヲ書イタノデゴザイマス、第百三條ハ事業ノ停止ニ關スル規定ヲ設ケタノデアリマシテ、「管理ノ命令アリタルトキハ管理ヲ受クル會社ノ事業ハ之ヲ停止ス但シ主務大臣必要アリト認ムルトキハ其ノ全部又ハ一部ヲ停止セザルモノト爲スコトヲ得」ト致シマシテ、強制管理ヲ受ケタ場合ニハ、原則ト致シマシテ積極的ニ事業ヲ進メテ行コトヲ禁止シタノデゴザイマス、是ハ事業ノ強制管理ヲ受クルヤウナ會社ニ新契約トカ、新タナ投資ヲセシムルコトハ不適當デアルト考ヘタ譯デアリマス、第百四條ハ契約ノ變更ニ關スル規定デアリマシテ、「主務大臣必要アリト認ムルトキハ管理ヲ受クル會社ノ保險契約ニ付計算ノ基礎ノ變更、保險金額ノ削減及將來ノ保險料ノ減額又ハ契約條項ノ變更ヲ爲スコトヲ得」、之ニ依リマシテ此ノ變更ノ處分ヲ致シマスルト、所謂管理ヲ受クル會社ト契約者トノ法律關係ニ變更ヲ生ズル譯デアリマス、例ヘバ管理ヲ受クル會社ノ責任準備金ガ不足デアルト云フヤウナ場合ニ、保險金額ヲ削減スルト云フヤウナ處分ヲ致シマスルト、將來ニ向ヒマシテ其ノ保險金額ハ削減ノ效果ヲ生ズ

ルト云フヤウナコトニナル譯デアリマス、是ハ強制管理ノ場合ニ於ケル最モ惡イ場合ニ對スル處置ヲ規定シタ譯デアリマス、「管理ヲ受クル會社ガ株式會社ナル場合ニ於テ主務大臣必要アリト認ムルトキハ株主ノ名義書換ノ禁止ヲ爲スコトヲ得」、是ハ此ノ必要アリト認ムル場合ニ、是等ノ處置ヲ執ルコトガ出來ルト云フ規定デゴザイマス、第三項ハ第一項ノ規定ニ依リマシテ保險金額ノ削減或ハ將來ノ保險料ノ減額又ハ契約條項ノ變更ノ處分アリタルトキハ、會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リマシテ其ノ旨及變更ノ要旨ヲ公告スルコトガ必要デアアル、前項ノ規定ニ依ル株主ノ名義書換ノ禁止ノ處分ガアツタ時ニモ、亦同ジヤウナコトヲセネバナラスト云フ趣旨デアリマス、第百五條ハ合併又ハ移轉ノ協議ニ關スル規定デアリマシテ、保險會社ガ保險管理人タルトキハ、主務大臣ノ認可ヲ受ケテ管理ヲ受クル會社ニ對シテ合併又ハ保險契約ノ移轉ニ關シ協議ヲ爲スコトヲ得ト云フコトニナッテ居リマス、是ハ管理ヲ命ゼラレタル會社ガ或程度管理シテ居リマスルト、相當前途ノ見極メモ付ク譯デゴザイマス、又此ノ管理ト云フヤウナ煩瑣ナ法律關係カラ離レルト云フコトガ必要ナ場合モ想像セラレマスノデ、管

理ヲ受ケル會社ニ對シテ合併ヲシヨウトカ、或ハ契約ヲ移轉シテ貰ヒタイト云フヤウナ意味ノ協議ヲ爲スコトガ出來ルト云フコトニシタ譯デアリマス、第百六條ハ「管理ノ必要ナキニ至リタルトキハ主務大臣管理ノ終了ヲ命ズ」、是ハ當然ナ規定デアリマス、第二項ハ登記ノ囑託ニ關スル規定デアリマス、第百七條ハ管理ト會社ノ整理、所謂新商法ニ依ル會社ノ整理トノ關係ヲ書イタ規定デゴザイマス、商法第三百八十一條第一項ト申シマスルノハ、整理ノ申立ニ關スル規定、第三項ハ申立却下ニ關スル規定、其ノ次ハ整理開始ノ場合監督禁止ノ命令ニ關スル規定、ソレカラ其ノ他御尋ニ依ッテ申上ゲマサガ、是等ノ細ガイ規定ハ管理ヲ受クル保險會社ニハ適用シナイ、所謂管理ヲ開始シタル場合ニ於キマシテハ、是等ノ規定ヲ適用シナイト云フヤウナ趣旨デゴザイマス、一應御説明ヲ申上ゲマス

○子爵會我祐邦君 今日ハ此處デトギレテ居リマスカラ、此ノ位ノ程度ニ止メテ戴キタイト思ヒマスガ、皆サン御賛成ヲ願ヒマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○山岡萬之助君 會社ノ管理ノ規定ハ、大體御説明ノアツタヤウニ新設サレタル規定

デアリマス、是ガ又相當重要性ヲ持ッテ居ルモノト思ハレマス、之ニ依リマスルト云フト、任意ニ自己ノ會社ヲ他人ニ管理セシメルト云フ行キ方ト、政府ガ勸告ヲ爲ス場合、及ビソレヲ過ギテ強制的ニ命令ヲ以テ管理セシメル場合、コンナ風ニ大體ナッテ居ルヤウデアリマスガ、ソコデ此ノ事業ノ繼續ガ困難ニナル、或ハ繼續ヲ不適當トスル場合ニ政府ガ命令ヲ以テ管理ヲスルト云フトハ、是ハモウ會社ガ先キノ見込モ殆ドナクナッテ來タ場合デアラウト思ヒマスカラ、是モ已ムヲ得ナイコトデアリマス、唯其處迄至ラナイ所ノ會社ニ對シテ管理ヲスルト云フコトハ、九十九條ニ付テ御説明モアリマシタヤウニ、信用ヲ基礎トスル保險業ニ付テハ相當ニ注意シナケレバナラヌト、モウ既ニ御説明ニナッテ居ル、唯私ハ此ノ任意ニ管理ヲ委託スルト云フ制度ヲ立テマシタガ、斯ウ云フ規定ノ立テ方結果シテ所期ノ目的ヲ達成スルカ否カニ疑ガアルノデアリマス、即チ此ノ内部ニ於テハ委託會社ト受託會社トノ關係ガアッテ、内部關係ハ是ハ別ニ論議スル必要ハナイノデスガ、外部ノ關係ニ於テ或會社ガ他ノ會社ニ經營ヲ委託シタト、斯ウ云フコトヲ公告スル、サウシテ九十六條ニ參リマスルト云フ

ト、委託會社ノ爲ニスルコトヲ表示シテ保險契約ノ取引ヲ爲ス、恐ラクサウ云フ會社ト保險契約ヲ爲スト云フ人ハ、マア大體ナイノデヤナイカ、サウ云フ風ナ何カ本質的存在ノ危ブマレルヤウナコトニナリマスカラ、ソレカラ更ニ又前項ノ表示ヲ爲サズシテ取引ヲ爲セバ委託會社ノ契約ニナツテシマフ、斯ウ云フノデスカラ、委託會社ハ大抵ドウモ其ノ委託會社ノ方ニ被保險者トナル人ガ頼ムト云フコトハ寧ロナイ、ドツチカト言フト受託會社ノ方ハ信用ノアル會社デアリマセウ、マアアナタノ方ニ願ヒタイノダト云フコトニナルノデ、九十六條ノヤウナ規定ヲ置イテ見タ所デ、委託會社ノ業務ト云フモノハ殆ド停止サレルコトニナリハセヌカ、ソレナラバサウ云フ業務ノ管理ヲ委託スルト云フヤウナコトハ無意味デア

ル、財産ノ管理ナラバソレハ分ル、危險ナ會社ニ財産ヲ管理サセル、是ハマア適當デナイ、ソレデアリマスルカラ他ノ人ヲシテ財産ヲ管理セシメルト云フコトハ、非常ニ其處ニ意義ガアル、ソレデアアルカラシテ諸外國アタリニ於テモ財産管理ニ付テハ可ナリ規定シテ居ル、此ノ業務ヲ包括シテ管理セシメルト云フヤウナコトハ、是ハドウモ其ノ目的達成ハ甚ダ私ハ疑フノデアリマ

ス、是ハモウ新シキヤルノデスカラ、ヤツテ見ナケレバ分ラヌノデスカ、政府ノ御考ハ委託會社ノ業務ト云フモノガ都合好ク行クト御考ニナラレルデゴザイマセウカ、ナラレルト云フナラドウ云フ事情ガ其處ニアリマスカ、其ノ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(牧野雄三) 此ノ強制管理ヲ命

ゼラレタル場合ニ於キマシテハ、原則トシマシテ事業ヲ停止スルコトニナツテ居リマス、從ツテ實質上ハ財産ノ管理ニ過ギナイヤウナ場合ガ多カラウカト考ヘマス、唯ドウシテモ必要ナ場合ト思ハレルノハ、御承知ノ外國ノ生命保險會社ガ、現在デハ内地デ商賣ガ引合ハナイモノデゴザイマスカラ、保有契約ヲ内地ニ殘シマシテ、サウシテ外國ニ引揚ゲテ居ルト云フヤウナモノガゴザイマス、ソレ等ノモノニ付キマシテハ矢張り殘務ニ屬スル事業ガアルノデアリマスノデ、是等ヲ切離シテヤルコトモ如何カト考ヘマスノデ、財産ノ管理ト業務ノ管理ヲ一緒ニ管理セシムルト云フ必要ノアル場合ガアルノデアリマス、又此ノ法律ノ適用ト致シマシテハ、損害保險會社ニハ適用ガアルノデアリマスガ、或管理ノ必要ノアルヤウナ會社ニ於キマシテ、或ハ之ヲ更生セシムルガ爲ニ必要ナル取引、即チ再保險等ニ於

キマシテ同一系統ノ資本ニ屬スルモノガ有利ノ再保險ヲ其ノ管理ヲ受クル會社ニヤラセルト云フガ如キハ、之ガ會社ヲ更生セシムルヤウナ意味ニ於キマシテモ必要ナ場合ガゴザイマセウト思ヒマス、サウ云フヤウナ場合ニハ所謂再保險ニ關スル取引ガ出來得ルノデアリマシテ、必ズシモ事業ヲ停止シテシマフ必要モナカラウカト思ヒマス、其ノヤウナ場合ニ於キマシテハ、業務ト財産トノ管理ヲ同一人ヲシテ管理セシムルト云フヤウナ必要モナイカト考ヘマス、マア多クノ場合ニ於キマシテハ管理ヲ委託スルナリ、強制管理ヲ命ゼラレマスヤウナ場合ニ於キマシテハ、山岡サンノ御説ノ通りニ原則トシテ積極的の事業ハ營ムベキデハナイト考ヘマス、實質上ハサウ云フコトデアリマスガ、マア理窟ヲ申上ゲマスト今ノヤウナ場合モゴザイマスノデ、斯ウ云フ規定ヲ設ケタ譯デアリマス

○山岡萬之助君 只今ノ御説明ニ依リマシテ、極ク特段ノ場合ニサウ云フヤウナ必要ガアルト云フヤウナ御説明デ、了解致シマシタ、ソコデ此ノ百五條ニ依リマスレバ、保險會社ガ保險管理人トナル場合ニハ、其ノ會社ヘ合併又ハ契約ノ移轉ヲスルト云フコトノ協議ヲ爲スコトガ出來ル、斯ウ云フ

マア是ハ任意ノコトデアリマスカラ、別ニ此ノ委託會社ノ不利益ニナルヤウナコトハ此ノ規定カラハ想像出來マセヌ、主務大臣ノ考ニ依ツテ此ノ管理規定ト云フモノハ、大體右ヘモ左ヘモ動イテ行クモノデアラウト思ヒマス、又實際サウナンデアラウト考ヘマス、ソコデ此ノ一般ノ質問應答ノ場合ニ段々皆サンノ間ニモ御話ノアツタ點デアリマスガ、惡イ會社ヲ整理スルト云フ場合ニハ、立派ニ是ハ活用出來ル譯デアリマス、併シ又一面カラ見ルト云フト、會社ヲ併吞スルト云フヤウナ動キ方モ是デ矢張り自然出來ルヤウニナルノデアリマス、ソコ等ノ邊ハ此ノ管理ニ付テハ眞ニ任意ナ管理ト云フコトヲ先ヅ規定サレテ、ソレカラ事業ノ困難ナ場合ニ或ハ繼續スルト云フコトガ強制管理トナツテ現レルノデアリマスルガ、極ク斯ウナント申シテ宜イカ、此ノ管理規定ト云フモノハ會社ノ自然ノ成行ヲ見テ、而シテ其ノ會社ガ不都合ナ時ダケヲ合併ナリ契約移轉ヲスル、斯ウ云フ風ダケニ見エ

ルノデスカ、政府トシテハ保險會社ト云フモノハ大キクナラナケレバナラヌカラ、成ルベク小サイモノハ整理シテシマフト云フヤウナ御考ヘ方モアルノデアリマスガ、ソコラ邊ニ付キマシテ、此ノ規定ノ運用ニ關ス

ル御所見ヲ承ッテ置キタイト考ヘマス

○政府委員(牧橋雄君) 是ハ最重要ナル御質問デアリマシテ、機會アレバ申上ゲタイト思ッテ居ルノデアリマスガ、此ノ業法ヲ改正シマスルニ付キマシテ、改正調査委員會ヲ設ケマシテ審議ヲ致シタ譯デゴザイマス、此ノ審議ヲ致シマシタ經過ヲ概略申上ゲマス、御分リニナルコト思ヒマスガ、保險業ハ日本ニ於キマシテハ非常ニ進歩デアリマシテ、今後モ非常ニ進歩シテ行ク傾向ニゴザイマス、是ハ私共之ヲ擔當スル者トシテ非常ニ喜ンデ居ル一面デハゴザイマス、併シナガラ其ノ半面ニ於キマシテ、所謂大キナモノト小サイモノトノ懸隔ガ非常ニ激シクナッテ行クヤウナ傾向ヲ辿ッテ居リマス、從ッテ大キナモノガ内容ガ良クテ、小サイモノガ必ズ内容ガ惡イト云フヤウナ意味デ申上ゲテ居ルノデハゴザイマセス、小サイモノノ内容ノ良イモノガゴザイマスルガ、併シ如何ニシテモ大キナモノト小サイモノトノ懸隔ハ激シクナッテ行クヤウナ傾向ニナル、從ッテ或ハ其ノ形ハ、力ト云フ問題ニナリマスルト、相當比例ノ關係ヲ示スカモ知レマセスガ、サウ云フ風ナ關係ガゴザイマスルガ、一面業績ノ惡イモノハ、ドウ云フ點デ惡イカト申シマス、其

ノ大キナモノノ力ニ壓セラレルト申シマス、契約ノ募集ガ困難デアルトカ、或ハソレニ伴ッテ契約費ガ餘計要ルトカ、事業費ガ殖エルトカ云フヤウナ點デ、相當業務ノ改善ヲ圖ルベキ點ガ多イノデゴザイマス、是等ノ點ハ先達テ申上ゲマシタ通りニ會社經營ノ内容ガ惡イ點カラ來ル點ト、今申上ゲタヤウナ相對的關係カラ來ル點トガアリマスガ、今回ノ改正ニ於キマシテハ、會社ノヤリ方ノ惡イ所カラ來ル業績不振ニ對シテハ、監督規定ノ整備ヲ致シマシテ之ヲ指導スル、整備ヲシテ強化ハ致シマスガ、飽ク迄モ其ノ運用ニ當ッテハ其ノ會社ノ業績ノ向上セシムルヤウナ精神ヲ以テヤルベキデアルト云フノガ、委員會ノ一致シタ意見デゴザイマシテ、當局モ同感ノ意ヲ示シタノデゴザイマス、併シナガラ如何ニ此ノ業績ノ惡クナッテ居ル會社ヲ向上セシムルヤウニ努力致シマシテモ、理窟ハ兎モ角ト致シマシテ、過去ノ經驗カラ申シマス、財界ノ急激ナ變動等ニ依リマシテ不良ナル會社、所謂整理ヲ要スルヤウナ會社ガ生ジタノデゴザイマス、是ハ理窟デナク實際起ッタノデアリマシテ、最近十二年間ニ、色々ナ事情ガゴザイマスガ、是ハ今申上ゲタヤウナ意味デナイノモゴザイマスルガ、約十三ノ生命保險會社

ガ無クナッテ居ルノデアリマス、是等ノ場合ニ於キマシテ、其ノ整理ノ手際ト申シマス、整理ノ手續ガウマク行ハレナク場合ヲ振返ッテ見マスルト、保險契約者ノ契約ガ非常ニ勢ヲ以テ落ちテ居ルノデゴザイマス、詳シク申上ゲル時間ガゴザイマセスガ、或會社ニ於キマシテハ經營ノ狀態ガ少シ惡クナッテカラ整理シ終ル迄ニ、殆ド契約ガ落ちテシマッタト云フヤウナ例ガゴザイマス、其ノ契約ガ、少シ經營狀態ガ惡クナッテ來タ時ニ約二億七八千萬圓契約ガアッタ會社ガ、整理シ終ル迄ニ八千萬圓ニ減ッタト云フヤウナ極端ナ例ガゴザイマス、是等ハ整理ノ手際モ惡カッタノデゴザイマセウガ、法律上ノ手段、是等ノ場合ニ對處スベキ法律上ノ手段ニ缺ケテ居ッタガ爲ニ、サウ云フ結果ヲ來シタヤウニ思ハレマス點ガ多イノデアリマス、是等ハ保險ノ監督ノ最重要點トスベキ保險契約者ノ保護ト云フ點ニ付テ、非常ニ遺憾ノ多イ點デアリマシテ、斯ウ云フモノヲ生ジタ場合ニハ出來ルダケ現在契約者ノ保護ヲ圖リツ、整理ヲスルコトガ最も必要デアラウカト考ヘラレマス、出來ルダケ斯ウ云フ會社ノ生ジナイヤウニ努ムベキデアリマスガ、一面ニ於テハサウ云フ場合ニ備フル所ガナクテハナラヌト考ヘルコト

ガ、私共ノ此ノ保險監督ノ任ニ當ッテ居ル者ノ痛感シテ居ル所デゴザイマス、ソレ等ノ趣旨ヲ配シマシテ、サウ云フ場合ニ備フル意味ニ於キマシテ是等ノ規定ガ考ヘラレタ譯デアリマス、委員會ニ於テハサウ云フ必要ガアラウ、サウ云フ必要ガアル場合ニ處スル方策トシテハ色々考ヘラルベキモノガアルデアラウガ、色々オ方法ヲ此ノ法律ニ規定シテ置ク、後ハ政府ガ其ノ時ノ事情ナリ會社ノ狀態ハ經濟界ノ狀態等ニ應ジテ、最も適當トスル方策ヲ採ッタガ宜シイデハナイカ、大キクモ小サクモ叩ケルヤウニシテ、サウシテ其ノ效果ヲ擧ゲルコトニ政府ハ努力スベキデアアル、規定ハ色々ナ場合ヲ規定シテ置クガ、サウ云フ趣旨ヲ以テスベキデアルト云フコトガ議セラレマシテ、政府ノ考ヘル所ト非常ニ一致シテ居リマスカラ、是等ノ規定ヲ入レルコトニシタ次第デアリマス、從ッテ是等ノ規定アルガ爲ニ何等カ業績ノ不振ナモノヲ積極的ニ整理スルカノ如キ嚆ガ立ッタノデゴザイマスガ、飽ク迄モ矢張り多數ノ保險契約者ノ現在契約ヲ保護スルト云フ趣旨ハ、保險監督ヲ爲ス者トシテ失ッテハイケナイノデアラウト考ヘマス、從ッテ進ンデ整理スル、斯様ナヤリ方ハ謂ハバズイヤリ方デハナイカト考ヘテ居

ルヤウナ次第デアリマス、併シナガラ山岡
サシノ言ハレルヤウニ又ソレヲ餘リ怠リマ
スト、契約者ニ一度ニ非常ナ不利益ヲ蒙ラ
シメルト云フヤウナ關係モゴザイマス、非
常ニ是ハ實際問題トシテハムヅカシイ問題
ダト考ヘテ居ル次第デアリマシテ、御注
意ニ付キマシテハ十分今後ノ運用ニ當リマ
シテ、慎重ニ考ヘナケレバナラスト考ヘテ
居ル次第デアリマス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) モウ御質問モ
ナイヤウデゴザイマスカラ、今日ハ此ノ程
度ニ措キマシテ、明朝ハ午前十時カラ……、
是デ散會致シマス

午後四時八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵樺山 愛輔君
副委員長 男爵矢吹 省三君
委員

公爵山縣 有道君
侯爵淺野 長之君
子爵梅小路定行君
子爵曾我 祐邦君
子爵上原七之助君
男爵伊藤 文吉君
男爵中村 謙一君
山岡萬之助君

大和田健三郎君
政府委員

商工省保險局長 牧 檜雄君

昭和十四年三月十五日印刷

昭和十四年三月十六日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局